

**令和6年度**

# **成美学園高等學校**

**通信教育実施計画**

# 目 次

はじめに	3
教育課程表	4
見方	5
各教科	
国語科	6
地理歴史科	18
公民科	29
数学科	38
理科	61
保健体育科	68
音楽科	75
英語科	76
家庭科	89
情報科	93
学校設定科目	95
総合的な探究の時間	98
特別活動	101

## はじめに

「シラバス」とは、学校教育活動に関する計画書を意味し、学習目標や指導計画、評価の方法等が記載されたものです。これは、学校が日頃の教育活動に関する情報を広く家庭や地域社会へ提示する、いわゆる「開かれた学校づくり」の一環となるものです。

一般的に言われる高等学校の学習の特徴としては、授業中の学習だけでは実力がかからないことが挙げられます。授業中には内容が理解できたように感じても、実際に自分で問題に取り組むと、さっぱり解けないことが多々あります。その原因は「復習」が足りないからです。授業後に自分で何度も復習し、また添削を受けたレポートを見直さないと、本当の自分の力にはならないのが高等学校の学習です。そのなかでも特に、「予習なくして授業なし」と言われるのが英語と数学です。予習をしないで授業を受けても、よく理解できません。しかし、予習をやっておくと授業の内容が理解でき、さらに面白みが増してきます。

このことから、学習計画を立てるために役立てることができるように、また、授業内容の理解を深めることができるように、このシラバスを作成しました。

ただし、これはあくまでも計画です。緊急事態等により変更があるかもしれません。その点を了解しておいてください。

それでは、この冊子を有効に活用し、実りのある高校生活を送りましょう。

令和6年度 教育課程表

教科	科目	単位数	面接指導回数	添削指導回数	必修科目	備考
国語	現代の国語	2	2	6	現代の国語 言語文化	
	言語文化	2	2	6		
	論理国語	4	4	12		
	文学国語	4	4	12		
	国語表現	4	4	12		
地理歴史	地理総合	2	2	6	地理総合 歴史総合	
	歴史総合	2	2	6		
	地理探究	3	3	9		
	日本史探究	3	3	9		
	世界史探究	3	3	9		
公民	公共	2	2	6	公共	
	倫理	2	2	6		
	政治・経済	2	2	6		
数学	数学Ⅰ	3	3	9	数学Ⅰ	
	数学Ⅱ	4	4	12		
	数学Ⅲ	3	3	9		2025年度開講予定
	数学A	2	2	6		
	数学B	2	2	6		
理科	科学Ⅰ	2	8	6	科学と人間生活 +基礎科目1科目  または 基礎科目3科目	
	生物基礎	2	8	6		
	化学基礎	2	8	6		
	物理基礎	2	8	6		
	生物	4	16	12		2025年度開講予定
	化学	4	16	12		2025年度開講予定
保健体育	体育a	3	15	3	全科目必修	
	体育b	2	10	2		
	体育c	2	10	2		
	保健a	1	1	3		
	保健b	1	1	3		
芸術	音楽Ⅰ	2	8	6	音楽Ⅰ	
	音楽Ⅱ	2	8	6		2025年度開講予定
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	12	9	英語コミュニケーションⅠ	
	英語コミュニケーションⅡ	4	16	12		
	英語コミュニケーションⅢ	4	16	12		2025年度開講予定
	論理・表現Ⅰ	2	8	6		
	論理・表現Ⅱ	2	8	6		
	論理・表現Ⅲ	2	8	6		2025年度開講予定
家庭	家庭基礎	2	4	4	家庭基礎 または 家庭総合から1科目	家庭総合との同時履修不可
	家庭総合	4	8	8		家庭基礎との同時履修不可
学校設定科目	情報Ⅰ	2	4	4	情報Ⅰ	
	基礎数学	3	3	9		数学科の他科目と同時履修不可
	基礎英語	3	12	9		英語科の他科目と同時履修不可
	キャリア実践a	2	2	4		原則1年次履修
	キャリア実践b	2	2	4		原則2年次履修
総合的な探究の時間	総合的な探究の時間a	1	2	2	全科目必修	
	総合的な探究の時間b	1	2	2		
	総合的な探究の時間c	1	2	2		

## シラバス表の見方

【科目名】 そのページの科目の名称。

【単位数】 その科目を履修することで修得できる単位数。卒業要件は 74 単位以上。

【教科書】 その科目の学習を進めるために扱う教科書。

【添削指導数】 その科目の単位修得の為に必要な添削指導(レポート)の枚数。

【面接指導数】 その科目の単位修得の為に必要な面接指導(スクーリング)の時間数。  
成美学園高等学校では 1 時間の面接指導が 50 分間となります。

【学習目標】 その科目を履修することで生徒の皆さんに目指してほしいこと。

【学習内容】 年間の学習計画。何月に何回目のレポートを扱うのか記載してあります。  
また、その中の「メディア」とは、状況に応じてスクーリングの代替として認められる報告課題です。ただし、すべての面接指導をメディアで実施することはできず、必要時間数の 10 分の 6 が上限となります。

【評価方法】 その科目の評価基準です。

科目名	単位数	教科書	添削指導数	面接指導数
現代の国語	2	東京書籍「新編現代の国語」(現国 701)	6	2
<b>学習目標</b>				
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。				
知識及び技能		思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等	
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。		論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	
<b>学習内容</b>				
月	回	内容	到達度目標	メディア
4	①	1 自己を見つめる	<ul style="list-style-type: none"> <li>筆者独自の考え方を読み取り、人それぞれが持つ意識の世界に思いをはせる。</li> <li>筆者の少年時代の体験について書かれた文章を読み、自分に当てはめて考える。</li> </ul>	
5		こそめスープ ルリボシカミキリの青		
6	②	2 他者に会う 未来をつくる想像力 水の東西	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報と想像力の関係を論じた文章を読み、意見の根拠を的確に理解して筆者の主張をつかむ。</li> <li>「水」を巡る日本と西洋の文化の比較を通じて、日本文化の特質について理解を深める。</li> </ul>	
7	③	4 視野を広げる スキマが育む都市の緑と生命のつながり 無彩の色	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な植物を観察してきた成果を述べる文章を読み、提示された新しい視点について理解する。</li> <li>色について論じた文章を、具体例の役割を押さえながら読み、筆者の価値観と主張をつかむ。</li> </ul>	
9	④	5 社会と関わる 鍋洗いの日々 森で染める人 真夏のひしこ漁	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の道を切り開いた筆者の体験談から、仕事に対する思いを読み取る。</li> <li>自然や社会の中で生きる意味を考えながら働く筆者の思いに触れ、働くということについて考える。</li> <li>海での漁の様子を伝える文章を読み、自然の中での労働について理解を深める。</li> </ul>	
10	⑤	7 世界とつながる 美しさの発見 りんごのほっぺ	<ul style="list-style-type: none"> <li>「美」という抽象的な題材について論じた文章を読み、その展開を論理的に捉え、筆者の価値観を理解する。</li> <li>出来事の順序に着目しながら、戦時下の人々の状況と、作品に一貫する筆者の思いを読み取る。</li> </ul>	
11	⑥	8 未来に目を向ける	<ul style="list-style-type: none"> <li>人間の心・意識について体験を踏まえつつ考察する文章を読み、人間への認識を深める。</li> <li>「自立」の在り方について考察する文章を読み、自分の考えを持ち、視野を広げる。</li> </ul>	【現代の国語】 第3回
12		不思議な拍手 真の自立とは		
<b>評価方法</b>				
レポートの評価、スクーリングの出席状況、単位認定試験の功績を総合的に評価する。				

科目名	単位数	教科書	添削指導数	面接指導数
言語文化	2	東京書籍「新編言語文化」(言文 701)	6	6
<b>学習目標</b>				
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。				
知識及び技能		思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等	
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。		論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	
<b>学習内容</b>				
月	回	内容	到達度目標	メディア
4	①	現代文編 1 随筆 さくらさくらさくら	・引用歌や体験談に注意しながら、日本独特の桜に対する感性について理解を深める。	
5		現代文編 2 小説 1 とんかつ	・会話や行動の描写に着目して、登場人物の心情とその変化を読み取る。	
6	②	現代文編 3 詩歌 柳あをめる【短歌】 雪の深さを【俳句】 冬が来た	・短歌独自の特徴と表現効果を理解し、言葉にこめられた情景や心情を読み取る。 ・俳句独自の特徴と表現効果を理解し、想像力を働かせて句の主題を読み取る。 ・比喻とリフレインの効果を理解して詩を読み味わい、作者のものの感じ方について考える。	
7	③	現代文編 4 小説 2 羅生門 現代文編 5 小説 3 夢十夜	・極限状態にある登場人物の心情の変化を、場面の展開に即して読み取り、主題を考える。 ・表現に即して小説を丁寧に読み味わい、そこに展開する独自の世界を味わう。	
9	④	古文編 2 随筆 徒然草 古文編 3 詩歌 折々のうた【言語】	・随筆に表れた作者の考えを、叙述を基に的確に捉える。 ・詩歌に表れたものの見方、感じ方、考え方を読み取る。	
10	⑤	古文編 4 物語 伊勢物語【芥川】 平家物語【木曾の最期】 古文編 5 紀行 奥の細道【平泉】	・歌物語に描かれている内容を、叙述を基に的確に捉える。 ・軍記物語特有の表現に注目しながら、登場人物の言動や心情を読み取る。 ・構成に注目しながら、作品にこめられた思いを読み取る。	
11	⑥	漢文編 1 漢文入門 訓読の基本	・漢文の特色を知り、訓読のきまりを理解するとともに、格言に親しむ。	
12		漢文編 2 漢詩 絶句と律詩一七首【春望】 漢文 3 論語 論語一八章	・孔子の学問・人間・政治に対する考え方を知り、孔子の思想に興味を持つとともに、ものの見方や考え方を豊かにする。	
<b>評価方法</b>				
レポートの評価、スクーリングの出席状況、単位認定試験の功績を総合的に評価する。				

科目名	単位数	教科書	添削指導数	面接指導数
文学国語	4	東京書籍「新編文学国語」(文国 701)	12	4
<b>学習目標</b>				
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。				
知識及び技能		思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等	
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。		深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わりようとする態度を養う。	
<b>学習内容</b>				
月	回	内容	到達度目標	メディア
4	①	I部 1 随筆 光の窓 雨月物語 I部 2 小説1 山月記	<ul style="list-style-type: none"> <li>筆者のものの見方や感じ方を読み取り、言葉と感覚との関係について考える。</li> <li>筆者の考え方の変化を捉え、『雨月物語』が筆者にどのような影響を与えたかを考える</li> <li>登場人物の心情を表現に即して把握し、主人公の内面と苦悩について考える。</li> </ul>	【文学国語】 第54回 第55回 第56回
5	②	窓 II部 3 評論1 言葉を生きる 詩と感情生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>場面や登場人物の設定における特徴を捉え、作中の「短編小説」が象徴するものについて考える。</li> <li>筆者の考えを表現に即して読み取り、「生きること」と「言葉」の関係について理解を深める。</li> <li>論の展開を踏まえて筆者の主張を捉え、詩の特質について考えを深める。</li> </ul>	
6	③	I部 4 小説2 山椒魚 沖縄の手記から	<ul style="list-style-type: none"> <li>登場人物の心情を理解しつつ、現代社会に生きる私たちが抱える問題について考える。</li> <li>戦争の中に生きる登場人物の生き方や考え方を捉え、人間の生と死について考えを深める。</li> </ul>	
	④	I部 5 詩歌 永訣の朝 硝子の駒—短歌抄 モードの編纂	<ul style="list-style-type: none"> <li>表現された内容を読み取り、描かれた行動や言葉から「わたくし」の妹に対する思いを解釈する。</li> <li>短歌独自の特徴と表現効果を理解し、言葉に込められた情景や心情を読み取る。</li> <li>具体例として挙げられた短歌の表現の特質を理解し、時代の変化との関わりを考える。</li> </ul>	
7	⑤	I部 6 小説3 こころ	<ul style="list-style-type: none"> <li>人物の関係性と心情を的確に捉え、人の心のありようについて考えを深める。</li> <li>作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める。</li> <li>文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考えを深める。</li> </ul>	【文学国語】 第23回 第24回 第25回



9	⑥	I部 7 評論2 文学のふるさと 文学の未来 I部 8 小説4 靴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体例と筆者の主張との関係に注意して評論を読み、文学のよりどころについて理解を深める。</li> <li>・本文中における引用の役割を押さえて筆者の主張を理解し、文学の意義について理解を深める。</li> <li>・寓意に注意しながら小説を読み、「現代」という時代について考えを深める。</li> </ul>
	⑦	II部 1 随筆1 国語から旅立って 書かれた風景のの中へ II部 2 小説1 檸檬	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者の多言語体験に基づく随筆を読み、言葉と自分との関係について考えを深める。</li> <li>・筆者の読書体験に基づく随筆を読み、言葉と自分との関係について考えを深める。</li> <li>・登場人物の言動・心理を表現に即して読み取り、「檸檬」の持つ意味について考える。</li> </ul>
10	⑧	コンビニの母 II部 3 詩歌 小諸なる古城のほとり 平気一正岡子規	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の言動・心理を表現に即して読み取り、現代社会における人間関係について考える。</li> <li>・文語の響きや五七調のリズムに親しみ、詩に描かれた情景や心情を読み取る。</li> <li>・韻文とその解釈によって描き出される人物像を的確に捉え、人間と文学の関係について考える。</li> </ul>
	⑨	II部 4 随筆2 空っぽの瓶 クレールという女 II部 5 戯曲 父と暮らせば	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人称を巡る筆者の体験や考えを読み取り、言葉と存在の関わりについて考える。</li> <li>・長い時間をかけて深まっていった筆者の読書体験を読み取り、人間の生き方について考える。</li> <li>・対話を軸にした構成に注意しながら戯曲を読み、原爆の惨禍と人間の幸福について考える。</li> </ul>
11	⑩	II部 6 小説2 舞姫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・構成や時代背景に注意しながら主人公の葛藤を読み取り、人生の選択について考える。</li> <li>・内容を的確に読み取り、明治期の文語体によって描き出された作品世界を味わう。</li> </ul>
	⑪	II部 7 評論 演技する「私」 映画の可能性のために	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者の主張の展開を押さえ、小説における作者と小説内の「私」との関係について考えを深める。</li> <li>・映画と小説を題材にした評論を読み、作品を成立させる視点のありようについて理解を深める。</li> </ul>
12	⑫	II部 8 小説3 葉桜と魔笛 蠅	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物語の展開を把握しつつ、そこに浮かび上がる人間の心の奥深さを味わう。</li> <li>・視点の移動に注意しながら、描かれた場面や状況を読み取り、作品の主題について考える</li> </ul>
<b>評価方法</b>			
レポートの評価，スクーリングの出席状況，単位認定試験の功績を総合的に評価する。			

科目名		単位数	教科書	添削指導数	面接指導数
論理国語		4	東京書籍「新編論理国語」(論国 701)	12	4
<b>学習目標</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・実社会に必要となる、言葉を的確に理解し効果的に表現するための知識や技能を身に付ける。</li> <li>・論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする力を培う。</li> <li>・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</li> </ul>					
<b>学習内容</b>					
月	回	内容	到達度目標	メディア	
4	①	I-1 広がる風景 細川 英雄『対話とは何か』	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評論を読んで、表現の特徴に注意して筆者の考えを読み取る。</li> <li>・対話についての筆者の考えを捉え、日常のコミュニケーションの在り方を振り返る。</li> </ul>	【論理国語】 第6回 第7回 第8回	
5	②	I-2 考える手がかり 河合 隼雄『「ふしぎ」ということ』	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の構成や内容を的確に捉えながら読んで、論じられている事柄について考える。</li> <li>・挙げられている話題を関連づけて読み取り、「ふしぎ」ということについて考えを深める。</li> </ul>		
6	③	I-3 人間と知性 広中 平祐『学ぶことと人間の知恵』	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間と知性を巡る評論を読んで、自分の考えを深める。</li> <li>・文のつながりに着目して主張を読み取り、人間の思考や学ぶことの意義について理解を深める。</li> </ul>	【論理国語】 第10回 第11回 第12回	
	④	I-4 現実の中で 鷺田 清一『思考の肺活量』	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表現に注意して評論を読み、提示された問題を的確に把握する。</li> <li>・比喩表現に注意して内容を読み取り、思考のあるべき姿について理解を深める。</li> </ul>		
7	⑤	I-5 ものの見方 松村 圭一郎『複数の「わたし」』	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学問的な見地から書かれた評論を読んで、ものの見方を広げる。</li> <li>・文章に示された考え方を手がかりに、「わたし」の捉え方について理解を深める。</li> </ul>		
9	⑥	論理の力 論理とは何か	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の構成や展開の仕方、推論の仕方などについて理解を深め、論証の基礎を学ぶ。</li> <li>・主張を支える適切な根拠を捉えて、文章の妥当性や信頼性を吟味して読解する力を身につける。</li> </ul>		
	⑦	II-1 時代をひらく 本川 達雄『豊かさと生物多様性』	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論理展開に注意して評論を読み、扱われている問題を的確に捉える。</li> <li>・筆者の主張を通して、生物多様性の重要性和課題について理解を深める。</li> </ul>		

10	⑧	Ⅱ-2 新しい視点から 小池 昌代『カフェの開店準備』	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験に基づく文章を読み、表現に注意して筆者の考えを捉える。</li> <li>・日々の何気ない光景から広がっていく筆者の思考を手がかりにして、自分の日常を見つめ直す。</li> </ul>
	⑨	Ⅱ-3 科学と人間 石黒 浩『鏡としてのアンドロイド』	<ul style="list-style-type: none"> <li>・科学や哲学の見地から書かれた評論を読んで、人間について考えを深める。</li> <li>・アンドロイドの研究を踏まえて得られた、人間に対する筆者の考えを捉える。</li> </ul>
11	⑩	Ⅱ-4 豊かな認識 内田 樹『言葉は「ものの名前」ではない』	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評論を読んだのちに理解し、論じられている物事への認識を深める。</li> <li>・言語と認識の関係について、具体例をもとに主張している評論を読み、言葉の働きについて考える。</li> </ul>
	⑪	Ⅱ-5 知のゆくえ 姜尚中『もう一つの知性』	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対比に注意して評論を読み、筆者の主張を的確に捉える。</li> <li>・科学的思考とは異なる思考の在り方を理解し、現代社会を生きるうえで必要な態度について考える。</li> </ul>
12	⑫	Ⅱ-6 明日をみつめて 若林 幹夫『未来のありか』	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体例と抽象的な説明に着目して、評論の内容を的確に読み取る。</li> <li>・小見出しを参考にして各部分の内容と関係を読み取り、未来とは何かについて考える。</li> </ul>

### 評価方法

レポートの評価、スクーリングの出席状況、単位認定試験の功績を総合的に評価する。

科目名	単位数	教科書	添削指導数	面接指導数
古典探求	4	東京書籍「新編古典探求」(古探 701)	12	4
<b>学習目標</b>				
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。				
知識及び技能		思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等	
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。		論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	
<b>学習内容</b>				
月	回	内容	到達度目標	メディア
4	①	古文編 I 宇拾遺物語「小野篁、広才のこと」(説話) 古文編 I 十訓抄「大江山の歌」(説話) 古文編 I 徒然草「花は盛りに」(随筆)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・ 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。</li> <li>・ 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。</li> </ul>	
5	②	古文編 I 方丈記「ゆく河の流れ」(随筆) 古文編 I 竹取物語「富士の山」(作り物語) 古文編 I 小倉百人一首の世界 (和歌)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・ 「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。</li> <li>・ 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。</li> </ul>	
5	③	古文編 I 土佐日記「馬のはなむけ」(日記) 古文編 I 更科日記「門出」(日記) 古文編 I 平家物語「壇の浦の合戦」(軍記物語)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。</li> <li>・ 「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。</li> <li>・ 進んで作品の表現や形式の特徴について理解し、学習課題に沿って作者の意図を読み取ろうとしている。</li> </ul>	

6	④	<p>古文編Ⅰ 世間胸算用「蛸売りの八助」(近世文学)</p> <p>古文編Ⅰ おらが春「幼子さと」(近世文学)</p> <p>古文編Ⅱ 枕草子「雪のいと高う降りたるを」 (随筆)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。</li> <li>・進んで近世小説のリズムや表現を味わい、学習課題に沿って近世小説に描かれた人々の生活や人物像を読み取ろうとしている。</li> </ul>	
6	⑤	<p>古文編Ⅱ 伊勢物語「初冠」(歌物語)</p> <p>古文編Ⅱ 大和物語「姨捨」(歌物語)</p> <p>古文編Ⅱ 大鏡「道真の左遷」(歴史物語)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。</li> <li>・積極的に歌物語の特徴について理解し、今までの学習を生かして、登場人物の心情や作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を読み取ろうとしている。</li> </ul>	<p>【古典探求】</p> <p>第2回</p> <p>第5回</p> <p>第10回</p>
9	⑥	<p>古文編Ⅱ 袋草紙「能因と節信」(歌話・歌論)</p> <p>古文編Ⅱ 無名抄「出で映えすべき歌のこと」 (歌話・歌論)</p> <p>古文編Ⅱ 源氏物語「光源氏の誕生」(作り物語)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。</li> <li>・積極的に歌話・歌論に表れているものの見方、感じ方、考え方を理解し、今までの学習を生かして自分の考えを広げようとしている。</li> </ul>	
9	⑦	<p>古文編Ⅱ 近世俳句抄(俳諧)</p> <p>古文編Ⅱ 去來抄(俳諧)</p> <p>古文編Ⅱ 古事記「倭建命」(伝承)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。</li> <li>・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。</li> </ul>	
10	⑧	<p>漢文編Ⅰ 「蛇足」(故事と小話)</p> <p>漢文編Ⅰ 唐詩「勸酒」「磧中作」「八月十五日夜、禁中独直、对月憶元九」(唐詩と文)</p> <p>漢文編Ⅰ 文「雑説」(唐詩と文)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。</li> </ul>	

10	⑨	漢文編Ⅰ 項羽と劉邦「四面楚歌」(史記) 漢文編Ⅰ 寓話「出藍筍」(中国の知恵) 漢文編Ⅰ 寓話「侵官之害」(中国の知恵)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。</li> </ul>	
11	⑩	漢文編Ⅰ 十八史略「水魚之交」(三国志) 漢文編Ⅱ 「鼓腹撃壤」(小話) 漢文編Ⅱ 「燕雀安知鴻鵠之志哉」(小話)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。</li> </ul>	
11	⑪	漢文編Ⅱ 古体詩「飲酒」「子夜吳歌」 漢文編Ⅱ 古体詩「長恨歌」 漢文編Ⅱ 廉頗と藺相如	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。</li> </ul>	【古典探求】 第7回 第8回 第17回
12	⑫	漢文編Ⅱ 孟子「不忍人之心」(論語) 漢文編Ⅱ 詩「聞旅雁」「送夏日漱石之伊予」 (日本の漢詩文) 漢文編Ⅱ 信玄と謙信「所争不在米塩」 (日本の漢詩文)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。</li> <li>・積極的に本文の内容や構成、展開を捉え、今までの学習を生かして、登場人物の行動や心情を読み取り、人間の生き方について考えようとしている。</li> </ul>	

### 評価方法

レポートの評価、スクーリングの出席状況、単位認定試験の功績を総合的に評価する。

科目名	単位数	教科書	添削指導数	面接指導数
国語表現	3	東京書籍「国語表現」(国表 702)	12	4

### 学習目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。

### 学習内容

月	回	内容	到達度目標	メディア
4	①	1 分かりやすく説明しよう ＜情報の整理・伝達＞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている</li> <li>・自分の思いや考えが伝わるよう、具体例を効果的に配置するなど、話の構成や展開を工夫している</li> <li>・分かりやすい説明に必要なことを粘り強く理解しようとし、学習課題に沿って、言葉選びや言葉遣い、情報の整理などの観点から、説明の仕方を改善しようとしている</li> </ul>	
5	②	1 分かりやすく説明しよう ＜情報の整理・伝達＞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けしている</li> <li>・自分の考えを明確にし、根拠となる情報を基に的確に説明するなど、表現の仕方を工夫している</li> <li>・情報を伝える相手のことを考え、適切な言葉遣いや伝え方を選択し、分かりやすい説明をすることができる</li> </ul>	
	③	2 身体で表現しよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・相手の反応に応じて言葉を選んだり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している</li> <li>・即興で演じる活動を通じて、身体が表現することを積極的に意識し、スピーチや発表などの際に効果的に伝えられるよう、今までの学習を生かして表現の仕方を改善しようとしている</li> </ul>	
6	④	3 「問い」を考えよう ＜インタビュー＞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・自分の思いや考えが伝わるよう、具体例を効果的に配置するなど、話の構成や展開を工夫している。</li> <li>・コミュニケーションや思考において「問う力」が重要であることを粘り強く理解し、学習の見通しをもってインタビューの企画、準備、実施、インタビュー記事の執</li> </ul>	

			筆活動に臨もうとしている。	
	⑤	3 「問い」を考えよう ＜インタビュー＞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・自分の考えを明確にし、根拠となる情報を基に的確に説明するなど、表現の仕方を工夫している。</li> <li>・相手に伝わりやすい問の投げかけ方を考え、実践し、より良いインタビューができるよう努めている。</li> </ul>	
7	⑥	4 「自分」を表現しよう ＜面接・自己PR＞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。</li> <li>・自分の思いや考えが伝わるよう、具体例を効果的に配置するなど、話の構成や展開を工夫している。</li> <li>・自分を表現する活動を通じて、相手に共感をもって聞いたり読んだりしてもらうために必要なことを粘り強く理解し、今までの学習を生かして表現を改善しようとしている。</li> </ul>	【国語表現】 第11回 第15回 第16回
9	⑦	5 論理的な文章を書こう ＜小論文＞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。</li> <li>・目的や意図に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。</li> <li>・小論文を書く活動を通じて、設問に応じて主張を組み立て、根拠を明確にしながら論じることを粘り強く理解し、学習の見通しをもって自らの文章を改善しようとしている。</li> </ul>	【国語表現】 第6回 第7回 第8回
	⑧	5 論理的な文章を書こう ＜小論文＞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・自分の考えを明確にし、根拠となる情報を基に的確に説明するなど、表現の仕方を工夫している。</li> <li>・小論文において何が重要かを考え、理解し、より良い論を展開することができるよう努めている。</li> </ul>	
10	⑨	6 話し合う力をつけよう ＜ファシリテーション＞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。</li> <li>・論点を明確にして自分の考えと比較しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を吟味して自分の考えを広げたり深めたりしている。</li> <li>・ファシリテーションの意義や技法を粘り強く理解し、</li> </ul>	



			学習の見直しをもって話し合いの中で積極的に実践しようとしている。
	⑩	7 情報活用力を身につけよう ＜広報資料＞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。</li> <li>・目的や意図に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。</li> <li>・広報資料の目的を粘り強く理解し、学習課題に沿って読み手に伝えたい情報を吟味し、話し合いながら協力して、よりよい広報資料を作ろうとしている。</li> </ul>
11	⑪	8 説得力のある提案をしよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。</li> <li>・自分の主張の合理性が伝わるよう、適切な根拠を効果的に用いるとともに、相手の反論を想定して論理の展開を考えるなど、話の展開や構成を工夫している。</li> <li>・プレゼンテーションを行う活動を通して、説得力のある提案をするために必要なことを粘り強く理解し、今までの学習を生かして実践しようとしている。</li> </ul>
12	⑫	9 表現を楽しもう ＜創作＞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の思いや考えを伝える際の言語表現を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。</li> <li>・目的や意図に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。</li> <li>・文学作品の創作に意欲的に取り組み、読み手を意識しながら粘り強く表現の仕方を工夫して、今までの学習を生かして自分が思い描いたことを的確な言葉で表現しようとしている。</li> </ul>
<b>評価方法</b>			
レポートの評価、スクーリングの出席状況、単位認定試験の功績を総合的に評価する。			

科目名	単位数	教科書	添削指導数	面接指導数
地理総合	2	東京書籍「地理総合」(地理総合 701)	6	2
学習目標				
地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察した地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養うとともに、日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするこの大切さについての自覚などを深める。				
知識及び技能		思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等	
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。		地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明する力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	
学習内容				
月	回	内容	到達度目標	メディア
4	①	第1編 地図や地理情報システムでとらえる現代世界	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国家と領土や、領土をめぐる社会的な事象の現状と背景について理解できているか。</li> <li>・交通機関や情報通信網の発達の背景や、社会や身近な暮らしに与えた変化を理解しているか。世界の結びつきの変化について、基礎的な知識を獲得しているか。</li> <li>・世界の結びつきや宗教の分布について地図と結び付けて理解できているか。</li> <li>・交通機関や情報通信網の発達がもたらした変化について、身近な生活の中でとらえられているか。</li> </ul>	
		第1章 私が暮らす世界 第2章 地図や地理情報システムの役割		
6	②	第3章 資料から読み取る現代世界	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の大地形について、地理的な分布や小地形と関連づけて理解しているか。</li> <li>・地形と気候、人々の暮らしを関連づけて理解しているか。</li> <li>・気候に関する資料を読み取る力があり、それぞれを関連づけて理解できているか。</li> <li>・自然環境と人々の暮らしの関わりについて、現実の問題と考えあわせて理解できているか。</li> </ul>	
		第2編 国際理解と国際協力 第1章 人々の生活文化と多様な地理的環境 1節 生活文化の多様性と国際理解		
7	③	2節 生活文化と自然環境①地形	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南北アメリカ大陸の農業、工業、地理的特徴や歴史的背景について理解できているか。</li> <li>・アジア地域の多様な食文化や産業、文化や歴史的背景について理解できているか。</li> <li>・地球環境問題をめぐる状況について、これまで学んできた地理的な観点から理解できているか。</li> </ul>	【地理総合】 第4回 第5回 第6回
		3節 生活文化と自然環境②気候		
9	④	4節 生活文化と産業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発展途上国の人口問題と居住・都市問題について理解</li> </ul>	

	<p>第2章 さまざまな地球的課題と国際協力</p> <p>1節 地球環境問題</p> <p>2節 資源・エネルギー問題</p>	<p>を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先進国の人口問題と居住・都市問題について理解を深める。</li> <li>・食料問題と地球的な諸課題について理解を深める。</li> <li>・地球的課題と民族問題について考える。</li> <li>・地球的課題と持続可能な社会の実現について自らの考えを持つ。</li> </ul>
10	<p>⑤</p> <p>3節 人口問題</p> <p>4節 食料問題</p> <p>5節 居住・都市問題</p> <p>6節 民族問題</p> <p>7節 持続可能な社会の実現をめざして</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の地形と地震・火山の特徴を理解する。</li> <li>・日本の気候と気象災害、防災への取り組みを理解する。</li> <li>・防災への日常的な取り組み、地域調査について、自らの意見を持つ。</li> </ul>
11	<p>第3編 持続可能な地域づくりと私たち</p> <p>⑥</p> <p>第1章 自然環境と防災</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地図に関する基本的な知識を獲得しているか。また、地図から情報を読み取る基本的な技術を獲得しているか。</li> <li>・国家と領土や、領土をめぐる社会的な事象の現状と背景について理解できているか。</li> <li>・地形図や Web GIS に関する基本的な知識を獲得し、生活の中で活用する技術を身につけているか。</li> </ul>
12	<p>第2章 生活圏の調査と地域の展望</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな地図の特徴と利用法を理解しているか。特にデジタル地図を利用するにあたって必要な知識は身につけているか。また、今回の学習範囲で学習したことを日常の生活の中で考え、活かそうとしているか。</li> </ul>
<b>評価方法</b>		
レポートの評価，スクーリングの出席状況，単位認定試験の功績を総合的に評価する。		

科目名	単位数	教科書	添削指導数	面接指導数
地理探求	3	東京書籍「地理探求」(地探 701)	9	3
学習目標				
<p>① 地球的な視野から地理的事象の空間的な規則性、傾向性や関連する課題の発生要因を捉える学習を通して、現代世界の諸事象の地理的認識を深めるとともに、系統地理的な考察方法を身に付けます。</p> <p>② ①をふまえ、選択した地域の特性とそこで発生する諸課題について捉える学習を通して、現代世界の諸地域の地理的認識を深めるとともに、地誌的な考察方法を身に付けます。</p> <p>③ ①、②をふまえ、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や持続可能な国土像の在り方を構想する学習を通して、現代世界における日本の現状と望ましい将来像についての認識を深めるとともに、主体的な学習活動である探究の手法を身に付けます。</p>				
学習内容				
月	回	内容	到達度目標	メディア
4		第1編 現代世界の系統地理的考察		
		第1章 自然環境		
5	①	第1節 世界の地形	地図の種類や大地形、小地形、気候が我々の生活といかに関わっているのか理解する。	
		第2節 気候と自然環境		
		第3節 気候と人々の生活		
		第4節 日本の自然環境と自然災害		
		第5節 世界の環境問題		
6	②	第2章 産業と資源	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の自然環境と災害について理解する。</li> <li>産業と資源について理解する。</li> </ul>	
		第1節 産業の発展と社会的分業		
		第2節 農林水産業		
		第4節 エネルギーと鉱産資源		
		第5節 資源・エネルギー問題		
	③	第6節 工業の立地と工業地域の変容	世界のエネルギー問題、工業立地と工業地域の変容について理解する。	
		第7節 第三次産業		
7	④	第3章 交通・通信・観光	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通、通信網の整備が進展することによって生じた貿易や経済連携、観光の在り方について理解する。</li> <li>人口動態や人口ピラミッドについて理解する。</li> </ul>	
		第1節 交通・通信		
		第2節 貿易と経済連携		
		第3節 観光		
		第4章 人口、村落・都市		
		第1節 人口		
9	⑤	第2節 人口問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界で直面している人口問題、村落や都市の形成、それらが絡み合う都市問題について理解する。</li> <li>民族や言語、宗教による生活文化の形成について理解する。</li> </ul>	
		第3節 村落・都市		
		第4節 居住・都市問題		
		第5章 生活文化、民族・宗教		
		第1節 生活文化の地域性		
		第2節 民族・言語・宗教		

10	⑥	第3節 民族問題 第4節 現代の国家と領土問題  第2編 現代世界の地誌的考察 第1章 現代世界の地域区分 第1節 地域区分の意義と方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活地域や宗教等による思想の違い、それらに伴う対立について理解する。</li> <li>・国家と国境の策定に伴う領土問題について理解する。</li> <li>・地域区分の意義と方法について理解する。</li> </ul>	
	⑦	第2章 現代世界の諸地域 第1節 東アジア—項目ごとに整理して考察する— 第2節 東南アジア—項目ごとに整理して考察する— 第3節 南アジア—経済成長に着目する—	東アジアから東南アジア、南アジアにかけての地理的特徴を理解し、今まで学習してきた系統地理の内容を踏まえて考察できるようになる。	
11	⑧	第4節 西アジアと中央アジア—二つの地域を比較する— 第5節 北アフリカとサハラ以南アフリカ—二つの地域を比較する— 第6節 ヨーロッパ—地域統合に着目する— 第7節 ロシア—項目ごとに整理して考察する— 第8節 アングロアメリカ—項目ごとに整理して考察する—	西アジア、中央アジア、ヨーロッパとロシア、そしてアングロアメリカの地理的特徴を理解し、今まで学習してきた系統地理の内容を踏まえて考察できるようになる。	
12	⑨	第10節 オセアニア—項目ごとに整理して考察する—  第3編 現代世界と日本の国土像 第1章 持続可能な国土像の探究 第1節 日本の地理的諸課題を読み解く 第2節 持続可能な国土像の探究	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オセアニアの地理的特徴を理解し、今まで学習してきた系統地理の内容を踏まえて考察できるようになる。</li> <li>・日本の地理的特徴、課題を踏まえて、持続可能な国土像について考察できるようになる。</li> </ul>	

**評価方法**

レポートの評価，スクーリングの出席状況，単位認定試験の功績を総合的に評価する。

科目名	単位数	教科書	添削指導数	面接指導数
歴史総合	2	東京書籍「歴史総合」(歴史総合 701)	6	2

### 学習目標

近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する力を養う。

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
<ul style="list-style-type: none"> <li>・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解している。</li> <li>・諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。</li> <li>・近現代の歴史に関する知識を正しく理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりすることができる。</li> <li>・考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近現代の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</li> <li>・よりよい社会の実現を視野に、自身との関わりを踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見いだそうとしている。</li> <li>・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。</li> </ul>

### 学習内容

月	回	内容	到達度目標	メディア
4	①	○18世紀のアジア・ヨーロッパ	1.18世紀のアジアとヨーロッパについて理解している	【歴史総合】 第1回 第2回 第3回
5		○産業革命の波及と世界市場の形成 ○東アジアと世界経済 ○イギリス産業革命	2.産業革命の始まりと世界経済への影響について理解している 3.東アジアへの西欧進出と産業革命の広がりについて理解している 4.産業革命による社会の変化について理解している	
6	②	○市民革命と近代化 ○19世紀のアジアと明治維新 ○立憲制の広まり ○帝国主義と植民地 ○帝国主義	1.市民革命と自由主義・ナショナリズムの役割について理解している。 2.列強がアジアに与えた影響と明治維新および東アジアの国際関係の変化について理解している。 3.欧米での立憲制の定着と、日本の帝国憲法について理解している。 4.帝国主義の動きと日清・日露戦争などの背景について理解している。 5.帝国主義政策に対する世界の態度について理解している。	
7	③	○第一次世界大戦 ○ソ連の成立とアメリカの繁栄 ○民主主義の拡大 ○大衆化	1.第一次世界大戦と戦後の国際協調体制について理解している。 2.ソ連の成立と社会主義運動の拡大、および1920年代のアメリカについて理解している。 3.反植民地運動と民主主義の拡大について理解している。	

			4.大衆化が進んだ理由・背景について理解している。	
9	④	<ul style="list-style-type: none"> <li>○世界恐慌とファシズム</li> <li>○第二次世界大戦</li> <li>○大戦後の世界</li> <li>○日本の占領政策</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.世界恐慌への対策とファシズムの台頭について理解している。</li> <li>2.二度目の世界大戦の勃発・拡大と大戦の終結について理解している。</li> <li>3.連合国の占領政策と冷戦について理解している。</li> <li>4.冷戦が日本の占領政策の変化に与えた影響について理解している。</li> </ol>	
10	⑤	<ul style="list-style-type: none"> <li>○冷戦と核兵器</li> <li>○経済政策と冷戦下の日本・アジア</li> <li>○先進国とベトナム戦争</li> <li>○経済成長の影響</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.冷戦下の対立の変化と米ソの軍拡競争および地域紛争について理解している。</li> <li>2.戦後の計画経済と開発，および冷戦下の日本の国内政治と外交について理解している。</li> <li>3.先進国の経済成長と地域連携の拡大およびベトナム戦争について理解している。</li> <li>4.先進国の経済成長の要因と社会の変化について理解している。</li> </ol>	
11	⑥	<ul style="list-style-type: none"> <li>○近代と石油危機</li> <li>○冷戦終結と地域紛争</li> <li>○民主化の進展とグローバル化</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.近代を問い直す新しい考え・動きと石油危機に対する経済政策について理解している。</li> <li>2.冷戦の終結と地域紛争，および平和維持活動の役割の拡大について理解している。</li> <li>3.グローバル化や地域統合，持続可能な社会の必要性を理解している。</li> <li>4.グローバル化の負の側面をもたらす具体的な影響について理解している。</li> </ol>	
12		<ul style="list-style-type: none"> <li>○グローバル化の課題</li> </ul>		
<b>評価方法</b>				
レポートの評価，スクーリングの出席状況，単位認定試験の功績を総合的に評価する。				

科目名	単位数	教科書	添削指導数	面接指導数
世界史探究	3	東京書籍「世界史探究」(世探 701)	9	3

### 学習目標

- ① 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。
- ② 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- ③ 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
○世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解している。 ○諸資料から世界の歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。	○世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりすることができる。 ○考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。	○世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 ○国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている。

### 学習内容

月	回	内容	到達度目標	メディア
4	①	序章 世界史へのまなざし 第1編 諸地域の歴史的特質 第1章 古代文明の出現 第2章 西アジアと地中海周辺	1 地球と人類の誕生、古代オリエントとエーゲ海地域について理解している。 2 アジアの古代文明、古代オリエントの統一、古代ギリシアとヘレニズム世界について理解している。 3 ローマ帝国と地中海世界、イスラーム世界の成立、中世初期の東西ヨーロッパについて理解している。 4 古代オリエントとエーゲ海地域、古代ギリシアとヘレニズム世界について理解している。	
5	②	第3章 南アジア 第4章 東南アジア 第5章 東アジアと中央ユーラシア	1 南アジアにおける国家形成、東南アジアにおける国家形成について理解している。 2 東アジアにおける古代国家の誕生について理解している。 3 草原地帯のトルコ化とイスラーム化、8世紀の世界について理解している。 4 南アジアにおける国家形成、東アジアにおける古代国家の誕生について理解している。	
6	③	第6章 アフリカ、オセアニア、古アメリカ	1 アフリカ、諸地域の交流と再編について理解している。 2 イスラーム世界の拡大と繁栄、中世ヨーロッパ社会の展開・成熟・文	【世界史探究】 第8回



	<p>第2編 諸地域の交流と再編</p> <p>第7章 イスラーム世界の拡大と繁栄</p> <p>第8章 中世ヨーロッパ</p> <p>第9章 中華世界の変容とモンゴル帝国</p>	<p>化についてについて理解している。</p> <p>3 中世ヨーロッパの再編，中華世界の変容とモンゴル帝国について理解している。</p> <p>4 古アメリカの文明，ルネサンスについて理解している。</p>	<p>第9回</p> <p>第10回</p>
④	<p>第10章 インド洋海域世界の発展と東南アジア</p> <p>第11章 大交易時代と世界の一体化</p>	<p>1 イスラームのインドとインド洋海域への浸透，海と陸の結合—東南アジア世界の発展について理解している。</p> <p>2 アジア交易圏の再編と活況，ポルトガルのアジア進出，明と日本・朝鮮の動向について理解している。</p> <p>3 一体化に向かう世界，大交易時代の世界について理解している。</p> <p>4 明と日本・朝鮮の動向，大交易時代の世界について理解している。</p>	
7 ⑤	<p>第12章 ユーラシア諸帝国の繁栄</p> <p>第13章 主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大</p>	<p>1 中央アジアと西アジアの繁栄と，インドの大国について理解している。</p> <p>2 清と東アジアについて理解している。</p> <p>3 17世紀の世界，主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大について理解している。</p> <p>4 主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大について理解している。</p>	
9 ⑥	<p>第3編 一体化していく世界</p> <p>第14章 国民国家と近代社会の形成</p>	<p>1 フランス革命とウィーン体制，自由主義の台頭と新しい革命の波について理解している。</p> <p>2 19世紀後半のヨーロッパ諸国，南北アメリカの発展について理解している。</p> <p>3 フランス革命とウィーン体制，19世紀後半のヨーロッパ諸国について理解している。</p>	
10 ⑦	<p>第15章 世界市場の形成とアジア諸国の変容</p> <p>第16章 アジア・アフリカ諸国の統治再編と世界分割の進行</p>	<p>1 産業資本主義の世界への波及と欧米社会，西アジアの危機と改革のはじまり，南アジア東南アジアの植民地化，清における開発の限界と二つのアヘン戦争について理解している。</p> <p>2 列強の覇権争い，西アジア・中央アジアの変革，南アジア・東南アジアの民族運動について理解している。</p> <p>3 清の体制転換と近代国家建設の模索，19世紀後半の世界について理解している。</p> <p>4 列強の覇権争い，西アジア・中央アジアの変革について理解している。</p>	
11 ⑧	<p>第17章 第一次世界大戦の展開と諸地域の変容</p> <p>第18章 国際協調体制の動揺と第二次世界大戦</p>	<p>1 第一次世界大戦，ヴェルサイユ体制と国際秩序の再編，大戦後のアメリカ合衆国とヨーロッパについて理解している。</p> <p>2 アジア・アフリカでの国家形成の動きについて理解している。</p> <p>3 国際協調体制の動揺と第二次世界大戦について理解している。</p> <p>4 アジア・アフリカでの国家形成の動きについて理解している。</p>	
12 ⑨	<p>第19章 第二次世界大戦と戦後の東アジア</p> <p>第4編 グローバル化と地球的課題</p> <p>第20章 冷戦の世界化と国際制度</p>	<p>1 アジア・太平洋戦争と日本の敗戦，帝国の解体と分断国家の形成，冷戦と政治・経済秩序についてについて理解している。</p> <p>2 平和共存と社会主義圏の多極化，冷戦の変容と世界の諸地域について理解している。</p>	

<p>第 21 章 冷戦の変容・終結と経済のグローバル化</p> <p>第 22 章 21 世紀の地球的課題と人類社会</p>	<p>3 冷戦の終結とその後の世界, アメリカ合衆国の復調とグローバル化, 21 世紀の地球的課題と人類社会について理解している。</p> <p>4 アジア・アフリカ諸国の独立と第三勢力, 21 世紀の地球的課題と人類社会について理解している。</p>
<p><b>評価方法</b></p>	
<p>レポートの評価, スクーリングの出席状況, 単位認定試験の功績を総合的に評価する。</p>	

科目名	単位数	教科書	添削指導数	面接指導数
日本史探求	3	東京書籍「日本史探求」(日本史探求 701)	9	3

### 学習目標

- ①我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- ②我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- ③我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
○我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解している。 ○諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている	○我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、次期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察し、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想している。 ○考察、構想したことを効果的に説明し、それらを基に議論している。	○我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 ○よりよい社会の実現を視野に、自身との関わりをふまえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見いだそうとしている。

### 学習内容

月	回	内容	到達度目標	メディア
4	①	第1編 先史・古代の日本と東アジア 第1章 先史社会の生活と文化 第3章 古代社会の形成と展開 1節 律令国家の形成と古代文化の展開	○人類の出現と旧石器時代の日本列島について理解しているか。 ○文化の特色や日本人の起源について理解しているか。 ○文化の特色と小国家の形成について理解しているか。 ○古墳時代の政治と文化について理解しているか。	
5	②	第1編 先史・古代の日本と東アジア 第3章 古代社会の形成と展開 1節 律令国家の形成と古代文化の展開 2節 摂関政治と貴族文化	○古墳時代の政治と文化について理解しているか。 ○藤原氏の台頭と武士の出現について理解しているか。 ○国風文化の特色について理解しているか。	
6	③	第2編 中世の日本と世界 第1章 中世社会の成立 第3章 中世社会の展開 1節 武家政権の成立と朝廷 2節 武家支配の広がりや国際交流	○院政の開始と展開、土地支配の変容について理解しているか。 ○武士の社会進出と平氏政権の誕生、およびその時代の外交と文化の特色について理解しているか。 ○鎌倉幕府の支配のしくみ、執権政治について理解しているか。 ○モンゴル襲来と鎌倉時代の社会の変化について理解しているか。 ○鎌倉時代の仏教と文化について理解しているか。	
7	④	第2編 中世の日本と世界	○鎌倉幕府の滅亡から室町幕府の成立にかけての幕府と朝廷	

		<p>第3章 中世社会の展開</p> <p>2節 武家支配の広がりや国際交流</p>	<p>の動きについて理解しているか。</p> <p>○室町時代の対外関係について理解しているか。</p> <p>○戦国大名の分国支配と都市の発達について理解しているか。</p> <p>○社会の変化や文化の特色について理解しているか。</p>	
9	⑤	<p>第3編 近世の日本と世界</p> <p>第1章 近世社会の形成</p> <p>第3章 近世社会の展開</p> <p>1節 幕藩体制の確立</p>	<p>○アジア各地やヨーロッパ諸国との交流が日本に及ぼした影響について理解しているか。</p> <p>○織豊政権による全国統一と、その政策の目的や意義について理解しているか。</p> <p>○江戸幕府の支配のしくみについて理解しているか。</p>	
10	⑥ ⑦	<p>第3編 近世の日本と世界</p> <p>第3章 近世社会の展開</p> <p>1節 幕藩体制の確立</p> <p>2節 近世社会の成熟と幕藩体制の動揺</p> <p>⑦ 第4編 近現代の地域・日本と世界</p> <p>第1章 近代社会の幕開け</p> <p>第3章 近現代社会の展開</p> <p>1節 近代的制度の導入と新しい国際関係</p>	<p>○近世の身分と村や町の生活について理解しているか。</p> <p>○江戸時代の政治改革と経済の発展について理解しているか。</p> <p>○近世の文化、庶民の生活について理解しているか。</p> <p>○幕藩体制の変容を理解しているか。</p> <p>○開国と日本の変化について理解しているか。</p> <p>○江戸幕府の崩壊から明治維新に至る過程について理解しているか。</p> <p>○明治初期の諸政策と意義について理解しているか。</p> <p>○自由民権運動の展開について理解しているか。</p>	<p>【日本史探究】</p> <p>第19回</p> <p>第20回</p> <p>第21回</p>
11	⑧	<p>第4編 近現代の地域・日本と世界</p> <p>第3章 近現代社会の展開</p> <p>2節 国民国家と資本主義の成立</p> <p>3節 両大戦間期の日本</p> <p>4節 第二次世界大戦と日本</p>	<p>○立憲制の確立について理解しているか。</p> <p>○条約改正交渉と日清戦争の経緯について理解しているか。</p> <p>○日露戦争の経過と日本の帝国主義の進展について理解しているか。</p> <p>○第一次世界大戦と当時の産業や文化の発展、社会運動の高まりについて理解しているか。</p> <p>○日中戦争、第二次世界大戦、アジア太平洋戦争について理解しているか。</p>	
12	⑨	<p>第4編 近現代の地域・日本と世界</p> <p>第3章 近現代社会の展開</p> <p>5節 占領と改革</p> <p>6節 国際社会への復帰と高度経済成長</p> <p>7節 アジア情勢の変化と経済大国日本</p> <p>8節 新しい国際秩序と日本の課題</p>	<p>○占領下の政治と日本国憲法の成立について理解しているか。</p> <p>○我が国の再出発及びその後の政治・経済や対外関係を理解しているか。</p> <p>○日本の主権回復とその後の政治について理解しているか。</p> <p>○我が国の再出発及びその後の政治・経済や対外関係を理解しているか。</p> <p>○高度経済成長後の政治と経済について理解しているか。</p> <p>○現代の政治や社会の枠組み、国民生活の変容を理解しているか。</p>	
<b>評価方法</b>				
レポートの評価，スクーリングの出席状況，単位認定試験の功績を総合的に評価する。				

科目名	単位数	教科書	添削指導数	面接指導数
公共	2	東京書籍「公共」(公共 701)	6	2
<b>学習目標</b>				
現代の諸課題を捉え考察し、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付け、現実社会の諸課題の解決に向け、選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力を養う。				
知識及び技能		思考力, 判断力, 表現力等	学びに向かう力, 人間性等	
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念とともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。		現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権をになう公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。	
<b>学習内容</b>				
月	回	内容	到達度目標	メディア
4	①	第1部 「公共」のとびら 第1章 公共的な空間をつくる私たち—社会のなかの自己	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代社会における青年期と自己形成について理解を深める</li> <li>・三大世界宗教, 功利主義, 義務論について理解を深める</li> <li>・先哲の思想について理解を深める</li> <li>・青年期, エンハンスメントについて理解を深める</li> </ul>	
5		第2章 公共的な空間における人間としての在り方生き方—共に生きるための倫理		
6	②	第3章 公共的な空間における基本的原理—私たちの民主的な社会 第2部 自立した主体として社会に参画する私たち 第1章 民主政治と私たち	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民主主義, 立憲主義, 人権保障や日本国憲法について理解を深める</li> <li>・民主政治について理解を深める</li> <li>・日本や世界の政治の仕組みについて理解を深める</li> <li>・投票率の低下について理解を深める</li> </ul>	【公共】 第9回 第10回 第11回
7	③	第2章 法の働きと私たち	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法のはたらきについて理解を深める</li> <li>・国民の司法参加について理解を深める</li> <li>・危害原理, 契約, 刑事手続きについて理解を深める</li> </ul>	
9	④	第3章 経済社会で生きる私たち	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代の経済と市場について理解を深める</li> <li>・市場経済における金融の働きについて理解を深める</li> <li>・財政の役割と持続可能な社会保障制度について理解を深める</li> <li>・キャッシュレス決済, 社会起業家やクラウドファンディングについて理解を深める</li> </ul>	

10	⑤	第4章 私たちの職業生活 第5章 国際社会のなかで生きる私たち テーマ1 ・ テーマ2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・労働について理解を深める</li> <li>・国際社会のルールとしくみについて理解を深める</li> <li>・国際社会と平和主義について理解を深める</li> <li>・働くこととワークライフバランスについて理解を深める</li> </ul>
11	⑥	第5章 国際社会のなかで生きる私たち テーマ3 ・ テーマ4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際平和への課題について理解を深める</li> <li>・グローバル化する国際経済について理解を深める</li> <li>・今日の国際経済とその課題について理解を深める</li> <li>・グローバル経済, SDGs について理解を深める</li> </ul>
12		第3部 持続可能な社会づくりに参画するために	
<b>評価方法</b>			
レポートの評価, スクーリングの出席状況, 単位認定試験の功績を総合的に評価する。			

科目名	単位数	教科書	添削指導数	面接指導数
政治・経済	2	東京書籍「政治・経済」(政経 701)	6	2

### 学習目標

- 社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手がかりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけます。
- 国家および社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身につけた判断基準を根拠に社会の在り方などについて構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養います。
- よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、日本および国際社会において国家および社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深めます。

知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等	学びに向かう力, 人間性等
○社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手がかりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	○合意形成や社会参画に向け、国家および社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身につけた判断基準を根拠に構想したり、社会の在り方などについて構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断したり、表現したりしている。	○よりよい社会の実現のために、国民主権を担う公民として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ○知識および技能を獲得したり、思考力, 判断力, 表現力等を身につけたりすることに向けた粘り強い取り組みを行うおうとしている。また、粘り強い取り組みを行うなかで、自らの学習を調整しようとしている。

### 学習内容

月	回	内容	到達度目標	メディア
4			<ul style="list-style-type: none"> <li>・政治と法の意義と機能, 基本的人権の保障と法の支配, 権利と義務との関係, 議会制民主主義, 地方自治について、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。</li> <li>・現代日本の政治に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察, 構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し, 読み取り, まとめている。</li> </ul>	
5	①	<ul style="list-style-type: none"> <li>【1】 民主政治の基本原則における重要かつ基本的な用語や事項について理解し, 答えることができる。</li> <li>【2】 日本国憲法の制定と基本原則および平和主義について理解し, 答えることができる。</li> <li>【3】 基本的人権の保障について正しく解くことができるとともに, 主な判例を憲法の条文と関連づけて理解し, 答えることができる。</li> <li>【4】 憲法や法律の新しい動きや争点について, 理解したことを表現したりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民主政治への道のりと現代の民主政治, 法と民主政治, 基本的人権の確立と国際化, 世界のおもな政治体制について理解している。</li> <li>・考察, 構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し, 読み取り, まとめている。</li> <li>・明治憲法と比べた日本国憲法の特徴や憲法改正の議論, 基本的人権の保障と「公共の福祉」との関係, 平和主義の意義と日本の安全保障体制について理解している。</li> <li>・考察, 構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収</li> </ul>	

		<p>集し、読み取り、まとめている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人の尊厳と基本的人権の尊重、対立、協調、効率、公正などに着目して、日本国憲法と現代政治のあり方との関連および望ましい政治のあり方ならびに主権者としての政治参加のあり方について、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</li> <li>・法や人権、少数派などの観点に着目し、よりよい民主政治を実現するためにはどのようなことが必要か多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>・近年の「新しい人権」や安全保障などをめぐる議論に着目し、日本国憲法が現在の日本においてどのような役割を果たしているか多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>・現代の日本政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。</li> <li>・現代の日本政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。</li> <li>・現代の日本政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。</li> </ul>	
6	<p>②</p> <p>【1】 立法と行政のそれぞれのしくみと相互の関係を理解し、答えることができる。</p> <p>【2】 司法のしくみと司法権の独立の重要性を理解し、答えることができる。</p> <p>【3】 地方自治のしくみと現代政治の特質と課題を理解し、答えることができる。</p> <p>【4】 国の制度と国民一人一人との関わりについて、理解したことを整理し、主体的に表現できる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国会の権限や運営、内閣の機能と国会との関係、司法権の独立の必要性や裁判のしくみ、地方自治の運営と住民の権利について理解している。</li> <li>・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。</li> <li>・政党政治と利益集団、選挙の意義としくみ、選挙をめぐる諸問題、世論形成におけるマスメディアの役割について理解している。</li> <li>・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。</li> <li>・国会、内閣、裁判所、地方自治それぞれで行われた改革に着目し、日本の政治機構にはどのような課題があり、どうすればそれを解決できるか多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>・主権者である自分はどのように政治参加をしていけばよいか、具体的な政策を通して多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>・現代の日本政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。</li> <li>・現代の日本政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。</li> </ul>	
7	<p>③</p> <p>【1】 社会主義との違いを踏まえ、資本主義経済の変容について理解し、その課題について答えるこ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済活動と市場、経済主体と経済循環、国民所得と経済成長、物価と景気変動、財政のしくみと役割および租税</li> </ul>	



	<p>とができる。</p> <p><b>【2】</b> 市場経済の限界とあるべき姿や責任について理解し、答えることができる。</p> <p><b>【3】</b> 国民所得と経済成長のとらえ方を理解し、金融と財政のしくみと働き、それらに対する政策について考察することができる。</p> <p><b>【4】</b> 現代経済の課題について理解したことを整理し、主体的に表現できる。</p>	<p>などの意義、金融のしくみと機能について、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代日本の経済に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。</li> <li>・経済活動の特徴、資本主義経済の成立と変容、社会主義経済と新自由主義について理解している。</li> <li>・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。</li> <li>・経済主体と経済の循環、企業の活動と社会的責任、市場経済の機能と限界、国民所得と経済成長、物価と国民生活、金融および財政のしくみと機能について理解している。</li> <li>・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。</li> <li>・個人の尊厳と基本的人権の尊重、対立、協調、効率、公正などに着目して、経済活動と福祉の向上との関連ならびに市場経済の機能と限界、持続可能な財政および租税のあり方、金融を通じた経済活動の活性化について、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</li> <li>・資本主義経済の特徴に着目し、資本主義経済が今日の世界経済の主流となったのはなぜか多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>・企業、市場経済、国民所得、金融、財政などの観点に着目し、現代の経済はどのようなしくみで、どのような課題を抱えているか多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>・現代の日本経済について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。</li> <li>・現代の資本主義経済について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。</li> <li>・現代の日本経済について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。</li> </ul>	
<p>9</p> <p>④</p>	<p><b>【1】</b> 日本経済の発展と現状について理解し、答えることができる。</p> <p><b>【2】</b> 福祉社会と日本経済の課題について理解し、答えることができる。</p> <p><b>【3】</b> 労働問題と社会保障について理解し、権利意識を持って考察することができる。</p> <p><b>【4】</b> 労働や社会保障について理解したことを整理し、主体的に表現できる。</p>	<p>・戦後日本経済の発展と、日本経済の現状について理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。</li> <li>・公害と環境保全、農業・食料問題、中小企業の現状と課題、情報化の進展と課題、消費者問題、雇用と労働問題、社会保障と福祉社会の実現について理解している。</li> <li>・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収</li> </ul>	<p><b>【政治・経済】</b></p> <p>第 30 回</p> <p>第 31 回</p> <p>第 32 回</p>

		<p>集し、読み取り、まとめている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の日本経済が抱える課題に着目しながら、戦後の日本経済がどのような変遷をたどってきたか多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>・日本の経済や社会が抱える諸課題の解決に向けて自分には何ができるか多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>・現代の日本経済について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。</li> <li>・現代の日本経済について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。</li> </ul>	
10	<p>⑤</p> <p>【1】 現代日本の様々な課題を把握し、その解決の方法を多面的に考察し、答えることができる。</p> <p>【2】 国連を中心とする国際社会の秩序形成について理解し、答えることができる。</p> <p>【3】 軍縮やなど現代国際政治の課題を把握するとともに、それらに対する日本の役割についても考察することができる。</p> <p>【4】 現代の国際社会の諸課題について理解したことを整理し、主体的に表現できる。</p>	<p>・現代日本における政治・経済の諸課題に関する諸資料について、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。</p> <p>・国際社会の変遷、国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割、軍縮と紛争防止、日本の国際貢献について、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。</p> <p>・現代の国際政治に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。</p> <p>・少子高齢社会における社会保障、地域社会の活性化、多様な働き方・生き方の実現、中小企業の意義と課題、日本財政の健全化、持続可能な食料・農業の実現、防災と安全・安心な社会の実現などについて、取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</p> <p>・個人の尊厳と基本的人権の尊重、対立、協調、効率、公正などに着目して、国際法の果たす役割および国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</p> <p>・現代日本における政治・経済の諸課題について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとし、合意形成や社会参画に向かおうとしている。</p> <p>・現代の国際政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	
11	<p>⑥</p> <p>【1】 貿易・国際収支のしくみと国際経済体制について理解し、答えることができる。</p> <p>【2】 世界経済の現状と課題を正しく理解し、答えることができる。</p>	<p>・貿易の現状と意義、為替レートの変動、国民経済と国際収支、国際協調の必要性や国際経済機関の役割について、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。</p> <p>・現代の国際経済に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。</p>	
12	<p>【3】 現代国際社会の諸課題について理解し、地球市民としての意識を持って考察することができる。</p>	<p>・現代日本における政治・経済の諸課題について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとし、合意形成や社会参画に向かおうとしている。</p> <p>・現代の国際政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	

る。

【4】現代の国際経済，国際社会について理解したことを整理し、主体的に表現できる。

・国際社会における政治・経済の諸課題に関する諸資料について，課題の解決に向けて考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめている。

・個人の尊厳と基本的人権の尊重，対立，協調，効率，公正などに着目して，相互依存関係が深まる国際経済の特質および国際経済において果たすことが求められる日本の役割について，多面的・多角的に考察，構想し，表現している。

・グローバル化にともなう社会変容，地球環境と資源・エネルギー問題，国際的な経済格差の是正，イノベーションの促進と成長市場，民族問題と紛争の解決，持続可能な社会の実現などについて，取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察，構想し，表現している。

・現代の国際経済について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。

・国際社会における政治・経済の諸課題について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとし，合意形成や社会参画に向かおうとしている。

#### 評価方法

レポートの評価，スクーリングの出席状況，単位認定試験の功績を総合的に評価する。

科目名	単位数	教科書	添削指導数	面接指導数
倫理	2	東京書籍「倫理」(倫理701)	6	2
<b>学習目標</b>				
現代の倫理的課題を捉え、他者と共によりよく生きる人間のあり方について自己の確立の課題として考察し、諸資料から、現代に生きる倫理的主体として活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付け、現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりする力を養う。				
知識及び技能		思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等	
<ul style="list-style-type: none"> <li>古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解する。</li> <li>諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力を養う。</li> <li>現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりする力を養う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりする態度を養う。</li> <li>多面的・多角的な考察やより深い思索を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める。</li> </ul>	
<b>学習内容</b>				
月	回	内容	到達度目標	メディア
4		第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方 第1章 人間の心のあり方 1節 人間とは何か	<ul style="list-style-type: none"> <li>人間の特質、青年期の課題について理解を深める</li> <li>認知活動と知覚、記憶のプロセスについて理解を深める</li> <li>推論とヒューリスティックについて理解を深める</li> <li>感情の生起について理解を深める</li> <li>類型論と特性論について理解を深める</li> <li>青年期の発達について理解を深める</li> <li>自分自身の性格について理解を深める</li> <li>ギリシャ思想について理解を深める</li> </ul>	
	①	2節 人間の心の働き 思考と対話 「心」をめぐって 第2章 さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅰ 1節 哲学すること 2節 ギリシャの思想		
6	②	3節 宗教と社会 4節 キリスト教 5節 イスラーム 6節 仏教 7節 中国の思想 8節 芸術 思考と対話 「幸福」をめぐって	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユダヤ教、キリスト教について理解を深める</li> <li>教父哲学、スコラ哲学について理解を深める</li> <li>イスラームや仏教、ウパニシャッド哲学について理解を深める</li> <li>中国の思想について理解を深める</li> <li>芸術家の考え方や生き方について理解を深める</li> <li>幸福な人生のあり方について理解を深める</li> </ul>	【倫理】 第10回 第11回 第12回
	7	③	第3章 さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅱ 1節 近代と人間尊重の精神 2節 近代思想の展開 3節 人格の尊厳と人倫の思想 4節 社会変革の思想 5節 理性への疑念	<ul style="list-style-type: none"> <li>ルネサンスや宗教改革、近代科学の諸思想について理解を深める</li> <li>新しい学問の方法、経験論と合理論について理解を深める</li> <li>社会契約説、人格の尊厳と人倫の思想について理解を深める</li> <li>社会変革の思想、理性への疑念について理解を深める</li> </ul>
9	④	6節 人間観・言語観の問いなおし	<ul style="list-style-type: none"> <li>実存主義と構造主義、現代思想の展開について理解を深</li> </ul>	

	7 節 他者・自然とのかかわり 第4章 国際社会に生きる日本人としての自覚 1 節 日本人の精神風土	める ・他者と自然とのかかわりについて理解を深める ・日本人の精神風土について理解を深める
10	⑤ 2 節 仏教と日本人の思想形成 3 節 儒教と日本人の思想形成 4 節 国学の思想 5 節 庶民の思想 6 節 西洋思想と日本人の近代化	・仏教思想について理解を深める ・儒教思想について理解を深める ・国学の思想, 「もののあはれ」について理解を深める ・庶民の思想について理解を深める ・西洋思想と日本人の近代化について理解を深める
11	7 節 国際社会に生きる日本人の自覚 第2編 現代の諸課題と倫理 1 節 生命 2 節 自然	・戦後思想の動向について理解を深める ・今日の生命倫理や医療の問題について理解を深める ・今日の環境倫理や環境問題について理解を深める
12	⑥ 3 節 科学技術 4 節 福祉 5 節 文化と宗教 6 節 戦争と平和	・今日の情報技術やインターネット社会, AI の活用とそれらの問題について理解を深める ・今日の家族とケア, ケアの倫理について理解を深める ・文化と宗教, 戦争と平和について理解を深める

### 評価方法

レポートの評価, スクーリングの出席状況, 単位認定試験の功績を総合的に評価する。

科目名	単位数	教科書	添削指導数	面接指導数
基礎数学	3	なし	9	3

### 学習目標

正負の数、文字式の計算、図形、方程式、関数、データの分析などについて基礎的な知識の習得と技能の習熟をはかり、それらを的確に活用する能力を伸ばし、数学 I を学習するための準備とする。

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	主体的に学習に取り組む態度
式や数の計算、図形の性質における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したリ、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につける。	数の範囲に着目し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力、図形の構成要素の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、標本と母集団の関係に着目し、調査の方法や結果を批判的に考察したりする力を養う。	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとする態度を養う。

### 学習内容

月	回	内容	到達度目標	メディア
4	①	正負の数	・正負の数の四則の混じった式の計算順序を理解し、計算ができる。	
5		文字と式	・文字に数を代入することや式の値の意味を理解し、式の値を求めることができる	
6	②	1次方程式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・等式の性質を理解し、等式の性質を使って方程式を解くことができる。</li> <li>・比例式の意味とその性質を理解し、比例式の性質を利用して文字の値を求めることができる。</li> <li>・加減法、代入法を理解し、それを用いて連立方程式を解くことができる。</li> </ul>	

	③	平面図形 空間図形	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平面図形に関する用語や記号の意味と使い方について理解を深める。</li> <li>・柱体，錐体の特徴について理解を深める。</li> <li>・空間内にある平面と平面，平面と直線，直線と直線の位置関係を理解する。</li> </ul>	
7	④	1次関数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1次関数の意味を理解し，<math>y = ax + b</math>の式に表すことができる。</li> <li>・1次関数のグラフの傾き，切片について理解を深める。</li> <li>・グラフの傾きと切片を読み取って，1次関数を求めることができる。</li> </ul>	
9	⑤	平方根 因数分解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平方根の意味を理解し，ある数の平方根を求めることができる。</li> <li>・分配法則や乗法公式を利用して，根号をふくむ式を計算できる。</li> <li>・乗法公式を利用して，いろいろな式をくふうして展開できる。</li> <li>・因数分解の公式を利用して，いろいろな式をくふうして因数分解できる。</li> </ul>	
10	⑥	図形の合同，相似	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三角形の内角，外角の性質を理解し，角の大きさを求めることができる。</li> <li>・三角形の合同条件を利用して，2つの三角形が合同かどうかを判断することができる。</li> <li>・三角形の相似条件を利用して，2つの三角形が相似かどうかを判断することができる。</li> </ul>	
11	⑦	2次方程式 関数 $y = ax^2$	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな2次方程式を，適当な方法で解くことができる。</li> <li>・関数<math>y = ax^2</math>と関数<math>y = ax + b</math>の特徴を対比させて理解している。</li> </ul>	<p>【ベーシック数学】</p> <p>第16回 第17回 第18回</p>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>関数<math>y = ax^2</math>で、<math>x</math>の変域に対応する<math>y</math>の変域を求めることができる。</li> </ul>	
	⑧ 円周角の定理 三平方の定理	<ul style="list-style-type: none"> <li>円周角の定理を利用して、角の大きさを求めることができる。</li> <li>三平方の定理を利用して、直角三角形の辺の長さを求めることができる。</li> </ul>	
12	⑨ 資料の活用 確率	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヒストグラムや代表値の必要性や意味について理解を深める。</li> <li>多数回の思考によって得られる確率と関連付けて、場合の数をもとにして得られる確率の必要性と意味及び確率の求め方について理解を深める。</li> <li>全数調査、標本調査の必要性と意味について理解を深める。</li> </ul>	
<b>評価方法</b>			
レポートの評価，スクーリングの出席状況，単位認定試験の功績を総合的に評価する。			



科目名	単位数	教科書	添削指導数	面接指導数
数学 I	3	東京書籍「新数学 I」(数 I 704)	9	1

### 学習目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	主体的に学習に取り組む態度
数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

### 学習内容

月	回	内容	到達度目標	メディア
4				
5	①	第一章 数と式 第一節 文字と式 文字を使った式 多項式の計算 乗法公式 因数分解	<ul style="list-style-type: none"> <li>文字を使った式の表し方の約束を確認し、正しく文字式を扱うことができる。</li> <li>多項式と数のかけ算、多項式の加法・減法の仕組みを理解し、それらの計算ができる。また、指数法則、単項式の乗法について理解し、さらに分配法則を用いて多項式を展開することができる。</li> <li>乗法公式について理解し、乗法公式が利用できる。</li> <li>分配法則や乗法公式を逆に用いて因数分解することについて理解し、因数分解の公式が利用できる。</li> </ul>	

	<p>第二節 実数</p> <p>② 平方根 根号を含む式の計算 数の分類 分数と小数</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平方根について理解する。</li> <li>・根号を含む式の基本的な計算ができる。また、分母の有理化について理解し、それを活用できる。</li> <li>・自然数、整数、有理数、無理数の意味を理解して、それらを区別できる。さらに、実数について理解するとともに、数を拡張することに興味を持つ。</li> <li>・有限小数、循環小数について理解し、有限小数になる分数を判断できる。また、循環小数を記号を用いて表すことができる。</li> </ul>	<p>【数学Ⅰ】</p> <p>第5回 第6回 第7回</p>
<p>6</p>	<p>第三節 方程式と不等式</p> <p>③ 一次方程式 不等式 不等式の性質 不等式の解 不等式の解き方 二次方程式とその解き方 二次方程式の解の公式</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一次方程式について理解し、一次方程式を解くことができる。また、一次方程式を利用して身近な問題を解決することができる。</li> <li>・不等号の意味を理解し、数量の大小関係を不等式で表すことができる。</li> <li>・不等式を調べることによって、不等式の性質を理解する。</li> <li>・不等式の解の意味を理解し、不等式の性質を用いて不等式を解くことができる。</li> <li>・二次方程式について理解し、平方根の考え、因数分解を用いて二次方程式を解くことができる。</li> <li>・解の公式を用いて二次方程式を解くことができる。</li> </ul>	
<p>7</p>	<p>④ 第二章 二次関数</p> <p>第一節 二次関数とグラフ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な事象から二次関数の概念を理解する。また、二次関数のグラフの特徴を理解し、二次関数のグラフをかくことができる。</li> </ul>	

		<p>関数</p> <p>一次関数とそのグラフ</p> <p>二次関数とそのグラフ</p> <p>グラフの平行移動</p> <p><math>y = ax^2 + bx + c</math>のグラフ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関数<math>y = ax^2</math>のグラフを<math>x</math>軸方向や<math>y</math>軸方向に平行移動したグラフをかくことができる。</li> <li>二次関数<math>y = ax^2 + bx + c</math>を<math>y = a(x - p)^2 + q</math>の形に変形し、軸と頂点を求めてそのグラフをかくことができる。</li> </ul>
9	⑤	<p>第二節 二次関数の値の変化</p> <p>二次関数の最大値・最小値</p> <p>二次関数のグラフと二次方程式</p> <p>二次関数のグラフと二次不等式</p> <p>いろいろな二次不等式</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>二次関数の最大値・最小値についてグラフを利用して理解し、それらの値を求めることができる。また、それを利用して身近な問題を解決することができる。</li> <li>二次関数のグラフと二次方程式の解の関係を理解し、グラフと<math>x</math>軸の共有点の<math>x</math>座標を求めることができる。また、式の見方を豊かにするとともに、グラフを活用することのよさを認識する。</li> <li>二次関数のグラフと関連させて、二次不等式を解くことができる。</li> <li>二次関数のグラフと<math>x</math>軸の共有点の位置関係から二次不等式の解の意味を理解し、グラフを利用して二次不等式を解くことができる。</li> </ul>
10	⑥	<p>第三章 三角比</p> <p>第一節 鋭角の三角比</p> <p>三角形</p> <p>タンジェント</p> <p>サインとコサイン</p> <p>三角比の利用</p> <p>三角比の相互関係</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相似な三角形の性質を理解し、辺の長さを求めることができる。また、三平方の定理を理解し、直角三角形の辺の長さを求めることができる。</li> <li>タンジェントの意味を理解し、直角三角形の辺の長さからその値を求めることができる。</li> <li>サイン、コサインの意味を理解し、直角三角形の辺の長さからその値を求めることができる。また、三角比</li> </ul>

		<p>を利用して具体的な場面の問題を解くことにより，三角比の有用性を認識する。</p>	
11	<p>⑦</p> <p>第二節 三角比の応用</p> <p>三角形の面積</p> <p>正弦定理</p> <p>余弦定理</p> <p>鈍角の三角比</p> <p>三角比の相互関係</p> <p>鈍角の三角比の利用</p>	<p>・与えられた辺の長さや角の大きさから，三角形の面積を求めることができる。</p> <p>・正弦定理を理解し，図形の軽量の際に有効に活用することができる。</p> <p>・余弦定理を理解し，図形の計量の際に有効に活用することができる。</p> <p>・座標を用いて定めることで<math>0^\circ</math>から<math>180^\circ</math>までの角に対するものに拡張された三角比の値を求めることができる。</p> <p>・角が鈍角の場合も正弦定理，余弦定理，三角形の面積の公式が成り立つことを理解し，図形の計量の際に有効に活用することができる。また，三角比を空間図形の計量に活用することができる。</p>	
	<p>⑧</p> <p>第五章 集合と論証</p> <p>第一節 集合と論証</p> <p>集合</p> <p>命題と集合</p> <p>命題と証明</p>	<p>・部分集合，全体集合，補集合，共通部分，和集合などの集合の表し方，用語，記号を，図を用いて理解し，記号を使って表すことができる。</p> <p>・命題の真偽と反例を考えることができる。また，必要条件，十分条件，必要十分条件の意味を知り，さらに図表示による包含関係と関連付けて理解する。</p> <p>・命題の逆，裏，対偶について理解し，対偶を利用した証明法や背理法による証明法を学び，論理的な思考力を養う。</p>	

12	⑨	<p>第四節 データの分析</p> <p>第一節 データの分析</p> <p>データにもとづいた問題解決の進め方</p> <p>データの特徴の調べ方</p> <p>代表値</p> <p>四分位数と箱ひげ図</p> <p>分散と標準偏差</p> <p>相関関係</p> <p>相関係数</p> <p>データにもとづく考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データの特徴を1つの数値によって表せることを理解し、それを平均値、中央値、最頻値などの代表値で表すことができる。</li> <li>・データの散らばり具合を表す四分位数、四分位範囲の定義や意味を理解する。また、それを箱ひげ図に表すことができる。</li> <li>・分散、標準偏差を理解し、それを求めることができる。</li> <li>・相関関係について理解する。</li> <li>・相関関係の強弱を表す相関係数について理解し、相関の強さが表せることの有用性を認識できる。</li> <li>・仮説検定の考え方を理解するとともに、不確実事象の起こりやすさに着目し、首長の妥当性について、実験などを通して判断したり、批判的に考察したりすることができる。</li> </ul>	
<b>評価方法</b>				
レポートの評価、スクーリングの出席状況、単位認定試験の功績を総合的に評価する。				

科目名	単位数	教科書	添削指導数	面接指導数
数学Ⅱ	4	新数学Ⅱ (東京書籍 数Ⅱ717・718)	12	2

### 学習目標

○数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等	学びに向かう力, 人間性等
<p>いろいろな式, 図形と方程式, 指数関数・対数関数, 三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに, 事象を数学化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p>	<p>数の範囲や式の性質に着目し, 等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力, 座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し, 方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり, 図形の性質を論理的に考察したりする力, 関数関係に着目し, 事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力, 関数の局所的な変化に着目し, 事象を数学的に考察したり, 問題解決の課程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。</p>	<p>数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度, 粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度, 問題解決の課程を振り返って考察を深めたり, 評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>

### 学習内容

月	回	内容	到達度目標	メディア
4	①	<p>第一章 方程式・式と証明</p> <p>第一節 式の計算</p> <p>1. 3次の乗法公式と因数分解</p> <p>2. 二項定理</p> <p>3. 分数式のかけ算とわり算</p> <p>4. 分数式のたし算とひき算</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3次の乗法公式と因数分解の公式について理解し, それらを用いて計算することができる。</li> <li>・パスカルの三角形について考察し, 二項定理を利用して式を展開することができる。</li> <li>・分数式とその約分, わり算, かけ算について理解し, その計算ができる。</li> <li>・分数式とその通分, たし算, ひき算について理解し, その計算ができる。</li> </ul>	

5	②	<p>第二節 2次方程式</p> <p>1. 複素数</p> <p>2. 複素数の計算</p> <p>3. 2次方程式の解</p> <p>4. 解と係数の関係</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・虚数単位を理解するとともに、数を実数から複素数に広げることに興味をもち、従来とけなかった2次方程式にも解があることを理解する。</li> <li>・複素数の演算や共役な複素数について理解する。</li> <li>・すべての2次方程式を解くことができる。また、2次方程式の判別式について理解し、解を判別することができる。</li> <li>・2次方程式の解と係数の間に成り立つ関係について興味をもって調べ、2次方程式への理解を深める。</li> </ul>	
6	③	<p>第三節 高次方程式</p> <p>1. 多項式のわり算</p> <p>2. 因数定理</p> <p>3. 高次方程式</p> <p>4. 等式の証明</p> <p>5. 不等式の証明</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多項式のわり算について理解し、商と余りの関係を表すことができる。</li> <li>・剰余の定理と因数定理について理解し、多項式のわり算や因数分解に関してそれらを利用することができる。</li> <li>・高次方程式について理解し、因数分解、因数定理を用いて高次方程式を解くことができる。また、身近な問題を解決することに、高次方程式を活用することができる。</li> <li>・左辺と右辺をそれぞれ計算することで、等式を証明し、論理的な思考を養う。</li> <li>・左辺と右辺の差をとることで、不等式を証明し、論理的な思考力を養う。また、相加平均と相乗平均の間に成り立つ関係について理解し、それを用いて不等式を証明することができる。</li> </ul>	<p>【数学Ⅱ】</p> <p>第6回</p> <p>第7回</p> <p>第8回</p>

	<p>第二章 図形と方程式</p> <p>第一節 座標と直線の方程式</p> <p>④</p> <p>1. 直線上の点の座標</p> <p>2. 平面上の点の座標</p> <p>3. 直線の方程式</p> <p>4. 2直線の関係</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数直線上の2点間の距離を求めることができる。また、線分の内分・外分の意味を理解し、数直線上の内分点・外分点の座標を求めることができる。</li> <li>・座標平面について理解する。座標平面上で、2点間の距離や内分点、外分点の座標を求めることができる。また、三角形の重心の座標を求めることができる。</li> <li>・直線の傾きと切片について理解し、1点と傾きや、2点を与えられたときの直線の方程式を求めることができる。</li> <li>・2直線の交点の座標が方程式を連立して求められることを理解する。また、平行・垂直な2直線の方程式の間に成り立つ関係について理解し、それらを用いて直線の方程式を求めることができる。</li> </ul>	
7	<p>⑤</p> <p>第二節 円の方程式</p> <p>1. 円の方程式</p> <p>2. 円と直線</p> <p>第三節 軌跡と領域</p> <p>1. 軌跡</p> <p>2. 不等式の表す領域</p> <p>3. 連立不等式の表す領域</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・与えられた条件から円の方程式を求めたり、円の方程式から円の中心の座標と半径を求めたりすることができる。</li> <li>・円と直線の共有点の座標を求めることができる。また、円と直線の共有点の個数について、2次方程式の判別式の符号と対応していることを理解する。</li> <li>・軌跡について理解し、与えられた条件から軌跡を求めることができる。</li> <li>・不等式が表す領域を図示したり、領域を不等式に表したりすることができる。</li> <li>・連立不等式が表す領域を図示することができる。</li> </ul>	



9	<p>第三章 三角関数</p> <p>第一節 三角関数</p> <p>⑥</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 一般角</li> <li>2. 三角関数</li> <li>3. 三角関数の相互関係</li> <li>4. 三角関数のグラフ</li> <li>5. 三角関数の性質</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・角の概念を一般角まで拡張することについて理解する。</li> <li>・三角関数の定義を理解し、一般角の三角関数の値を求めることができる。</li> <li>・一般角の三角関数についても三角関数の相互関係が成り立つことを理解する。</li> <li>・三角関数のグラフの特徴を理解し、そのグラフをかきすることができる。</li> <li>・三角関数の性質を用いて三角関数の値を求めることができる。</li> </ul>	<p>【数学Ⅱ】</p> <p>第 18 回</p> <p>第 19 回</p> <p>第 20 回</p>
	<p>⑦</p> <p>第二節 加法定理</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 加法定理</li> <li>2. 加法定理の応用</li> <li>3. 弧度法</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三角関数の加法定理を理解し、それらを用いて三角関数の値を求めることができる。</li> <li>・加法定理の簡単な応用として 2 倍角の公式を導き利用できる。また、加法定理の逆として三角関数の合成を理解する。</li> <li>・弧度法の意味を理解し、弧度法による扇形の弧の長さや面積を求めることができる。</li> </ul>	
10	<p>⑧</p> <p>第四章 指数関数と対数関数</p> <p>第一節 指数関数</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 整数の指数</li> <li>2. 累乗根</li> <li>3. 分数の指数</li> <li>4. 指数関数とそのグラフ</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指数の範囲を整数全体に拡張した指数法則について理解し、指数法則を用いて計算することができる。</li> <li>・累乗根の意味を理解し、簡単な計算をすることができる。</li> <li>・指数の範囲を分数に拡張した指数法則について理解</li> </ul>	

	<p>5. 指数関数の利用</p>	<p>し、指数法則を用いて計算することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指数関数の定義とそのグラフの性質を理解し、指数関数のグラフをかいたり、大小比較をしたりすることができる。</li> <li>・ 身近な問題を解決することに、指数関数を活用することができる。</li> </ul>	
<p>11</p>	<p>⑨</p> <p>第二節 対数関数</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 対数</li> <li>2. 対数の性質</li> <li>3. 対数関数とそのグラフ</li> <li>4. 常用対数</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対数の意味を理解し、簡単な対数の値を求めることができる。</li> <li>・ 対数の性質を理解し、それを用いて対数の計算をすることができる。</li> <li>・ 対数関数の定義とそのグラフの性質を理解し、対数関数のグラフをかいたり、大小比較をしたりすることができる。</li> <li>・ 常用対数の意味と常用対数表の使い方を理解し、それらを用いて整数の累乗の桁数を求めることができる。</li> </ul>	
<p>11</p>	<p>⑩</p> <p>第五章 微分と積分</p> <p>第一節 微分係数と導関数</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 平均変化率</li> <li>2. 微分係数</li> <li>3. 導関数</li> <li>4. 導関数の計算</li> <li>5. 接線</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関数の平均変化率が曲線上の2点を通る直線の傾きに等しいことを理解し、平均変化率を求めることができる。</li> <li>・ 極限值や微分係数の意味を理解し、微分係数を定義に基づいて求めることができる。</li> <li>・ 導関数の意味を理解する。</li> <li>・ 簡単な導関数の計算ができる。また、導関数を利用して、微分係数を求めることができる。</li> <li>・ 曲線上のある点における接線の方程式を求めることが</li> </ul>	

		<p>できる。また、与えられた曲線の方程式から曲線上のある点における接線の方程式を求めることができる。</p>	
	<p>第二節 導関数の応用</p> <p>⑪</p> <p>1. 関数の増加・減少</p> <p>2. 関数の極大・極小</p> <p>3. 関数の最大・最小</p>	<p>・導関数の符号を利用して、関数の増減を調べることができる。</p> <p>・関数の極大・極小の意味を理解し、極大値・極小値を求めたり、そのグラフをかいたりすることができる。</p> <p>・ある定義域における関数の最大値・最小値を、増減を調べることによって求めることができる。また、それを利用して身近な問題を解決することができる。</p>	
12	<p>第三節 積分</p> <p>⑫</p> <p>1. 不定積分</p> <p>2. 定積分</p> <p>3. 面積</p>	<p>・不定積分の意味を理解し、公式を用いて不定積分を求めることができる。</p> <p>・定積分の意味を理解し、公式を用いて定積分を求めることができる。</p> <p>・定積分を利用して、直線や曲線で囲まれた図形の面積を求めることができる。</p>	
<b>評価方法</b>			
レポートの評価，スクーリングの出席状況，単位認定試験の功績を総合的に評価する。			

科目名	単位数	教科書	添削指導数	面接指導数
数学 A	2	東京書籍「新数学 A」 (数 A 704)	6	1
学習目標				
数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次の通り育成することを目指す。				
知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等		
<ul style="list-style-type: none"> <li>図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。</li> <li>数学と人間の活動の関係について認識を深める。</li> <li>事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察することができる。</li> <li>不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断することができる。</li> <li>数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。</li> <li>問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。</li> </ul>		
学習内容				
月	回	内容	到達度目標	メディア
4		第1章第1節 場合の数 p.4-21 1, 集合 2, 共通部分と和集合 3, 集合の要素の個数 ① 4, 和の法則 5, 順列, 組合せ 6, 積の法則	<ul style="list-style-type: none"> <li>集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則、積の法則などの数え上げの原則について理解している</li> <li>具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し、順列の総数や組合せの総数を求めることができる。</li> <li>事象の構造などに着目し、場合の数を求める方法を多面的に考察することができる。</li> <li>事象を場合の数や確率の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。</li> <li>問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。</li> </ul>	<b>【数学 A】</b> 第2回 第3回 第4回
5				

<p>6</p> <p>②</p>	<p>第1章第2節 確率 p.22-29</p> <p>1, 試行の確率を求める</p> <p>2, 確率の計算1</p> <p>3, 確率の計算2</p> <p>4, 排反事象の確率</p> <p>5, 余事象の確率</p> <p>6, 事象と確率</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを用いて事象の確率や期待値を求めることができる。</li> <li>・ 独立な試行の意味を理解し、独立な試行の確率を求めることができる。</li> <li>・ 条件つき確率の意味を理解し、簡単な場合について条件つき確率を求めることができる。</li> <li>・ 確率の性質や法則に着目し、確率を求める方法を多面的に考察することができる。</li> <li>・ 確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断したり、期待値を意思決定に活用したりすることができる。</li> <li>・ 事象を場合の数や確率の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。</li> <li>・ 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。</li> </ul>	
<p>7</p> <p>③</p>	<p>第1章第2節 確率 p.30-37</p> <p>1, 独立な試行の確率の計算</p> <p>2, 独立な試行の確率</p> <p>3, 反復試行の確率1</p> <p>4, 反復試行の確率2</p> <p>5, 積事象の確率</p> <p>6, 期待値</p> <p>7, くじの期待値</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを用いて事象の確率や期待値を求めることができる。</li> <li>・ 独立な試行の意味を理解し、独立な試行の確率を求めることができる。</li> <li>・ 条件つき確率の意味を理解し、簡単な場合について条件つき確率を求めることができる。</li> <li>・ 確率の性質や法則に着目し、確率を求める方法を多面的に考察することができる。</li> </ul>	

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断したり，期待値を意思決定に活用したりすることができる。</li> <li>・事象を場合の数や確率の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。</li> <li>・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。</li> </ul>	
<p>9 ④</p>	<p>第2章1節 平面図形の基礎 p.40-49</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1, 角の表し方</li> <li>2, 対頂角の性質</li> <li>3, 三角形の内角と外角の性質</li> <li>4, 三角形の合同と相似の表し方</li> <li>5, 垂直二等分線の作図</li> <li>6, 角の二等分線の作図</li> <li>7, 多角形の内角と外角</li> </ol> <p>第2章2節 三角形の性質 p.50-57</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1, 三角形と比の性質</li> <li>2, 中点連結定理の利用</li> <li>3, 三角形の重心を求める</li> <li>4, 三角形の重心の性質</li> <li>5, 三角形の外心の性質</li> <li>6, 三角形の内心の性質</li> <li>7, 角の二等分線と線分の比</li> <li>8, 三角形と比の性質</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三角形に関する基本的な性質について理解している。</li> <li>・図形の構成要素間の関係や既に学習した図形の性質に着目し，図形の新たな性質を見だし，その性質について論理的に考察したり説明したりすることができる。</li> <li>・コンピュータなどの情報機器を用いて図形を表すなどして，図形の性質や作図について統合的・発展的に考察することができる。</li> <li>・事象を図形の性質の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。</li> <li>・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。</li> </ul>	

10	<p>第2章3節 円の性質 p.58-75</p> <p>⑤</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1, 円の接線の長さ</li> <li>2, 円周角の定理</li> <li>3, 円周角の定理の逆</li> <li>4, 円に内接する四角形</li> <li>5, 方べきの定理</li> <li>6, 2つの直線のなす角</li> <li>7, 直線と平面の位置関係</li> <li>8, 多面体</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・円に関する基本的な性質について理解している。</li> <li>・空間図形に関する基本的な性質について理解している。</li> <li>・図形の構成要素間の関係や既に学習した図形の性質に着目し、図形の新たな性質を見だし、その性質について論理的に考察したり説明したりすることができる。</li> <li>・コンピュータなどの情報機器を用いて図形を表すなどして、図形の性質や作図について統合的・発展的に考察することができる。</li> <li>・事象を図形の性質の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしていたりしている。</li> <li>・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。</li> </ul>	
11	<p>第3章1節 数や位置を表す p.78-85</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1, 数を表す1</li> <li>2, 数を表す2</li> <li>3, 2進法を10進法で表す</li> <li>4, 10進法を2進法で表す</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数量や図形に関する概念などと人間の活動の関わりについて理解している。</li> <li>・数学史的な話題、数理的なゲームやパズルなどを通して、数学と文化との関わりについて理解している。</li> </ul>	
12	<p>⑥</p> <p>第3章2節 数のつくりを調べる p.86-91</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1, 約数と倍数</li> <li>2, 最大公約数と最小公倍数</li> <li>3, ユークリッドの互除法</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数量や図形に関する概念などを、関心に基づいて発展させ考察することができる。</li> <li>・パズルなどに数学的な要素を見だし、目的に応じて数学を活用して考察することができる。</li> <li>・人間の活動における数学のよさを認識し、様々な場面で数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしていたりしている。</li> </ul>	

- ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり, 評価・改善したりしようとしている。
- ・約数, 倍数, 素数, 素因数分解などの整数に関する基本的概念を理解し, 約数, 倍数を求めることや, 素因数分解することができる。
- ・素因数分解を利用して最大公約数, 最小公倍数を求めることができる。
- ・ユークリッドの互除法を理解し, これを用いて2つの正の性質の最大公約数を求めることができる。

### 評価方法

レポートの評価, スクーリングの出席状況, 単位認定試験の功績を総合的に評価する。



科目名	単位数	教科書	添削指導数	面接指導数
数学 B	2	数学B Standard (東書 数B702)	6	

### 学習目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等	学びに向かう力, 人間性等
<ul style="list-style-type: none"> <li>・数列, 統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。</li> <li>・数学と社会生活の関わりについて認識を深めている。</li> <li>・事象を数学化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・離散的な変化の規則性に着目し, 事象を数学的に表現したり考察したりすることができる。</li> <li>・確率分布や標本分布の性質に着目し, 母集団の傾向を推測し判断したり, 標本調査の方法や結果を批判的に考察したりすることができる。</li> <li>・日常の事象や社会の事象を数学化し, 問題を解決したり, 解決の過程や結果を振り返って考察したりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり, 粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。</li> <li>・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり, 評価・改善したりしようとしている。</li> </ul>

### 学習内容

月	回	内容	到達度目標	メディア
4			<ul style="list-style-type: none"> <li>・数列の概念及び数列についての基本的な用語の意味を理解する。</li> </ul>	
5	①	1章 数列 1節 数列	<ul style="list-style-type: none"> <li>・等差数列について関心を深め, 一般項<math>a_n</math>を初項 a, 公差 d を使って表せることを理解する。</li> <li>・等差数列の初項から第 n 項までの和の求め方に興味をもち, それが n を用いて表せることを理解する。</li> <li>・等比数列について関心を深め, 一般項<math>a_n</math>を初項 a, 公比 r を使って表せることを理解する。</li> <li>・等比数列の初項から第 n 項までの和の求め方に興味をもち, それが n を用いて表せることを理解する。</li> </ul>	
6	②	2節 いろいろな数列	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記号<math>\Sigma</math>の意味と性質を理解し, 自然数の累乗の和を<math>\Sigma</math>を用いて表すことができる。</li> </ul>	

			<ul style="list-style-type: none"> <li>・階差数列や数列の和から一般項を求めたり，群数列などの少し複雑な数列の一般項や和を求めたりすることができる。</li> </ul>
7	③	3節 漸化式と数学的帰納法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数列の帰納的定義について理解し，漸化式を扱うことができる。</li> <li>・数学的帰納法について理解し，等式などの証明に利用できる。</li> <li>・“階差を利用した数列の和”の問題について，本章で学んだことを活用して解決に取り組み，問題解決力を高める。</li> </ul>
9	④	2章 統計的な推測 1節 標本調査 2節 確率分布	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10回中6回「当たり」は珍しい？の考察を通して，統計的な推測について興味・関心を高める</li> <li>・標本調査の意義を認識し，標本の抽出法や用語などを理解する。</li> <li>・確率変数，確率分布の意味を理解し，確率分布を求めることができる。また，確率変数の平均と分散の意味を理解し，確率変数 <math>X</math> の平均（期待値）や分散，標準偏差を求めることができる。</li> <li>・確率変数 <math>aX+b</math> の平均や分散，標準偏差について理解し，それらを求めることができる。</li> <li>・確率変数の和の平均や独立な確率変数の積の平均，和の分散について理解し，それらを求めることができる。</li> <li>・二項分布の意味を理解する。また，二項分布の確率や平均，分散及び標準偏差を求めることができる</li> </ul>
10	⑤	3節 正規分布 4節 統計的な推測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連続分布とその代表の正規分布について理解し，正規分布に従う確率変数の確率を求めることができる。また，二項分布を正規分布で近似して確率を求めることができる。</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・母平均，母分散，母標準偏差や標本平均の分布，分散などを求めることができる。また，標本平均の分布と正規分布の関係を理解し，標本平均の分布から母平均を推定する方法を理解する。さらに，信頼度 95%の信頼区間という考え方を理解し，母平均や母比率に対する信頼区間を求めることができる。</li> <li>・仮説検定の考えや帰無仮説，対立仮説，有意水準，棄却域などの用語について理解し，母平均の検定，母比率の検定を行うとともに，母集団に関する予想の妥当性について判断することができる。</li> <li>・“1 か月間に何冊の本を読む？”の問題について，本章で学んだことを活用して解決に取り組み，問題解決力を高める。</li> </ul>	
<p>11</p> <hr/> <p>12</p>	<p>3 章 数学と社会生活</p> <p>1 節 数学的モデル化</p> <p>2 節 関数モデル</p> <p>⑥ 3 節 確率モデル</p> <p>4 節 幾何モデル</p> <p>5 節 フェルミ推定</p> <p>巻末</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事象の特徴を捉え，数学的に表現した数学的モデルの考え方について理解する。また，ポップコーンを買うまでの待ち時間を，ある仮定に基づく数学的モデルを用いて考察したり，予測の度合いを高めるために数学的モデルを修正したりすることができる。</li> <li>・日常生活や社会生活などの様々な問題場面に潜む変量間の関係を見いだす関数モデルについて理解する。また，ジュースの販売数と日ごとの最高気温を変量として関数モデルを考え，回帰直線を求めて販売数を予測したり，予測の度合いを高めるために仮定や関数モデルを見直したりすることができる。</li> <li>・身の回りで起こる不確実な要素を含む現象を確率を用いて表現する確率モデルについて理解する。また，貸し出した自転車がそれぞれのポートにどのような確率で返却されるかを，実験データをもとに確率モデルを</li> </ul>	

つくって予測したり，考えたりすることができる。

・事象を平面図形または空間図形を用いて表現する幾何モデルについて理解する。また，ラグビーのコンバージョンキックを蹴って成功しやすいのはどの地点かを，幾何モデルを用いて考えることができる。

・直感で把握することが困難な数の概数を求めるフェルミ推定の考え方を理解する。また，日本で1年間に使用されるチョークの本数などの概数を，フェルミ推定を用いて考えることができる。

### 評価方法

レポートの評価，スクーリングの出席状況，単位認定試験の功績を総合的に評価する。

科目名	単位数	教科書	添削指導数	面接指導数
科学と人間生活	2	東京書籍「科学と人間生活」(科学と人間生活 701)	6	8
<b>学習目標</b>				
自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付け、観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養うとともに、自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。				
知識及び技能		思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等	
自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。		観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。	自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。	
<b>学習内容</b>				
月	回	内容	到達度目標	メディア
4	①	【1】身のまわりの微生物と、微生物の種類について	①身のまわりの微生物に興味・関心を持つ。	【科学と人間生活】 第2回 第3回
5		【2】生態系における微生物のはたらき 【3】食品と微生物の関わりについて 【4】微生物の発見の歴史と、医薬品と微生物の関わりについて	②微生物の種類を理解する。 ③生態系における微生物のはたらきを理解する。 ④微生物の発見の歴史について理解する。 ⑤食品や医薬品と微生物の関わりについて理解する。	
6	②	【1】免疫について、DNAの構造と、転写・翻訳について 【2】視覚が生じるしくみと、眼の構造とはたらきについて 【3】血糖濃度を調節するしくみについて 【4】免疫と、体内ではたらくタンパク質について	①ヒトの生命現象に興味・関心を持つ。 ②視覚が生じるしくみと、眼の構造とはたらきについて理解する。 ③血糖濃度を調節するしくみについて理解する。 ④免疫について理解する。 ⑤DNAの構造と、転写・翻訳について理解する。	【科学と人間生活】 第5回
7	③	【1】金属の性質について 【2】プラスチックの性質について 【3】金属の性質について 【4】ガラスやプラスチックのリサイクルについて	①身のまわりの金属やプラスチックに興味・関心を持つ。 ②リサイクルについて理解する。 ③金属の性質と再利用について理解する。 ④プラスチックの性質と再利用について理解する。	【科学と人間生活】 第7回 第8回 第9回
9	④	【1】繊維の種類について 【2】油脂と炭水化物について 【3】化学繊維の製造過程と、合成繊維の性質について 【4】栄養素の種類と、タンパク質について	①衣料や食品に含まれる物質に興味・関心を持つ。 ②繊維の種類と性質について理解する。 ③栄養素の種類について理解する。 ④脂質(油脂)の構造と性質について理解する。 ⑤炭水化物の種類と性質について理解する。 ⑥タンパク質の構造と性質について理解する。	【科学と人間生活】 第10回
10	⑤	【1】光の性質について 【2】電磁波の性質と利用について 【3】光の性質と、色の見え方について 【4】光のスペクトルと、電磁波(赤外線、紫外線)について	①可視光線を含む電磁波の性質や利用に興味・関心を持つ。 ②光の性質について理解する。 ③光のスペクトルについて理解する。 ④色の見え方について理解する。 ⑤電磁波の性質と利用について理解する。	【科学と人間生活】 第12回 第13回

11		<p>【1】 熱運動と温度について</p> <p>【2】 熱の伝わり方と、エネルギーの変換について</p>	<p>①熱やエネルギーに興味・関心を持つ。</p> <p>②熱運動と温度について理解する。</p>	<p>【科学と人間生活】</p>
12	⑥	<p>【3】 熱量の保存について</p> <p>【4】 エネルギーの変換と、エネルギーの有効利用について</p>	<p>③熱量の保存について理解する。</p> <p>④熱の伝わり方について理解する。</p> <p>⑤エネルギーの変換について理解する。</p> <p>⑥エネルギーの有効利用について理解する。</p>	<p>第 14 回</p> <p>第 15 回</p> <p>第 16 回</p>

**評価方法**

レポートの評価，スクーリングの出席状況，単位認定試験の功績を総合的に評価する。

科目名		単位数	教科書	添削指導数	面接指導数
生物基礎		2	東京書籍「生物基礎」(生物基礎 701)	6	8
学習目標					
日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付け、観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養うとともに、生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。					
知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等	
日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。		観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。		生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	
学習内容					
月	回	内容	到達度目標	メディア	
4	①	【1】細胞の特徴について	①生物の多様性や共通性に興味・関心を持つ。	【生物基礎】 第2回 第4回 第5回	
5		【2】ATPの構造とはたらき、代謝について 【3】酵素のはたらき、呼吸について 【4】生物の多様性と共通性について	②生物の体内で起こる化学反応に興味・関心を持つ。 ③生物の多様性と、生物に共通する性質について理解する。 ④細胞の特徴について理解する。 ⑤ATPの構造とはたらきについて理解する。 ⑥酵素のはたらきについて理解する。 ⑦呼吸と光合成について理解する。		
6	②	【1】遺伝子と、DNAの構造について 【2】タンパク質の合成について 【3】DNAの複製と、転写・翻訳について 【4】タンパク質のはたらきと、細胞の分化と遺伝子の発現の関係について	①遺伝や遺伝子のはたらきに興味・関心を持つ。 ②遺伝子について理解する。 ③DNAの構造と、複製のしくみについて理解する。 ④タンパク質の合成について理解する。 ⑤細胞の分化と遺伝子の発現の関係について理解する。	【生物基礎】 第10回 第11回 第12回	
7	③	【1】体液と、神経系の構成について 【2】自律神経系のはたらき、脳の構造とはたらき、内分泌系について 【3】血糖濃度を調節するしくみについて 【4】神経系と内分泌系のはたらきについて	①ヒトの体を調節するしくみに興味・関心を持つ。 ②体液について理解する。 ③神経系の構成とはたらきについて理解する。 ④内分泌系のはたらきについて理解する。 ⑤血糖濃度を調節するしくみについて理解する。	【生物基礎】 第17回 第18回 第19回	
9	④	【1】免疫のしくみ、血液凝固、自己免疫疾患について 【2】免疫のしくみ、アレルギー、AIDSについて 【3】体液性免疫と二次応答について 【4】免疫の応用、免疫とさまざまな疾患のかかわりについて	①免疫のしくみと疾患とのかかわりに興味・関心を持つ。 ②免疫のしくみについて理解する。 ③血液凝固について理解する。 ④二次応答と予防接種について理解する。 ⑤アレルギーや自己免疫疾患、AIDSについて理解する。	【生物基礎】 第23回 第24回 第26回	
10	⑤	【1】生態系における作用と環境形成作用、森林の階層構造について 【2】遷移とバイオームについて 【3】世界と日本のバイオームの分布について	①身のまわりの植生やバイオームに興味・関心を持つ。 ②生態系における作用と環境形成作用について理解する。 ③森林多土壌の構造について理解する。		

		【4】 植生の環境形成作用と、遷移について	④遷移について理解する。 ⑤世界と日本のバイオームについて理解する。	
11		【1】 食物網と生態ピラミッドについて 【2】 生態系における生物間の関係、生態系の攪乱と復元、生態系の保全について	①身のまわりの生態系に興味・関心を持つ。 ②食物網について理解する。	
	⑥	【3】 生態系における生物間の関係、生態系の攪乱と復元、生態系の保全について	③生態系における生物間の関係について理解する。	
12		【4】 生態系の人為的攪乱と、生態系を保全する必要性について	④生態系の攪乱と復元について理解する。 ⑤生態系を保全する必要性について理解する。	
<b>評価方法</b>				
レポートの評価，スクーリングの出席状況，単位認定試験の功績を総合的に評価する。				



科目名	単位数	教科書	添削指導数	面接指導数
化学基礎	2	新編 化学基礎 (東京書籍化基 702)	6	8
<b>学習目標</b>				
日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、化学的に探究する能力と態度を育むとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。				
知識及び技能		思考力, 判断, 表現力等	学びに向かう力, 人間性	
化学の基本概念や原理・法則を具体的な物質の性質や反応と結び付けて理解し、活用する知識を身に付ける。		物質に関する原理・法則の基礎を理解し、物質とその変化を徹視的にとらえる見方や考え方を養う。	化学の学習内容が日常生活や社会とかかわることを知り、身近な物質とその変化への関心を高める。	
<b>学習内容</b>				
月	回	内容	到達度目標	メディア
4	①	物質の成分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・純物質と混合物について理解を深める。</li> <li>・物質を構成する基本的な成分について理解を深める。</li> <li>・物質の状態変化と温度の関係について理解を深める。</li> </ul>	【化学基礎】 第2回 第3回
5		物質の構成元素 物質の三態		
6	②	原子の構造 元素の周期表 原子の電子配置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原子の構造について理解を深める。</li> <li>・元素の周期律を学び、周期表の特徴について理解を深める。</li> <li>・電子配置を学び、周期表との関係について理解を深める</li> </ul>	【化学基礎】 第6回 第7回 第8回
7	③	イオン 分子と共有結合 イオン結合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イオンの種類とその生成について理解を深める。</li> <li>・共有結合と分子の形成について理解を深める。</li> <li>・イオン結合, 組成式について理解を深める。</li> </ul>	【化学基礎】 第10回 第11回
9	④	原子量・分子量・式量 物質質量 溶液の濃度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・元素の原子量を学び、分子量, 式量の求め方について理解を深める</li> <li>・物質質量と粒子の数, 質量との関係について理解を深める。</li> <li>・質量パーセント濃度について理解を深める。</li> </ul>	【化学基礎】 第18回 第19回 第21回
10	⑤	酸と塩基 中和反応と塩の生成 水素イオン濃度と pH	<ul style="list-style-type: none"> <li>・酸と塩基の定義を学び、その性質について理解を深める。</li> <li>・中和と中和によって生じる塩について理解を深める。</li> <li>・水素イオン濃度と pH について理解を深める。</li> </ul>	【化学基礎】 第25回 第26回 第27回
11	⑥	酸化と還元	<ul style="list-style-type: none"> <li>・酸化と還元の定義について理解を深める。</li> <li>・酸化数を学び、酸化剤と還元剤の反応について理解を深める。</li> <li>・酸化還元反応の利用例として、電池の原理について理解を深める。</li> </ul>	【化学基礎】 第33回 第35回 第37回
12		酸化剤と還元剤 酸化還元反応の応用		
<b>評価方法</b>				
レポートの評価, スクーリングの出席状況, 単位認定試験の功績を総合的に評価する。				

科目名	単位数	教科書	添削指導数	面接指導数
物理基礎	2	東京書籍「新編物理基礎」(物理基礎 702)	6	8
<b>学習目標</b>				
日常生活との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探求するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。また、観察、実験などを行い、物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探求する力、探求しようとする態度を養う。				
知識及び技能		思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等	
日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。		観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	
<b>学習内容</b>				
月	回	内容	到達度目標	メディア
4	①	【1】 変異と速度、等速直線運動	①身のまわりの運動に興味・関心を持つ。 ②運動の種類と表し方を理解する。 ③様々な運動の特徴を理解する。 ④文章や図から運動の様子を理解できる。 ⑤速度や変位、時間、加速度を計算で求めることができる。	【物理基礎】 第3回 第4回 第5回
		【2】 物体の運動とグラフについて 【3】 等速直線運動、合成速度と相対速度、速度が変わる運動 【4】 合成速度と相対速度、水平投射		
6	②	【1】 力と運動の法則 【2】 力の種類、力の合成と分解 【3】 力のつり合い、摩擦力 【4】 作用・反作用の法則、動摩擦力とその性質	①力と運動の関係に興味・関心を持つ。 ②力の3要素について理解する。 ③力の種類と表し方を理解する。 ④運動の法則と運動方程式について理解する。 ⑤力の3要素や運動の様子について計算できる。	【物理基礎】 第8回 第9回 第12回
7	③	【1】 仕事とエネルギー 【2】 仕事とエネルギーの計算 【3】 弾性力、等加速度運動とエネルギー 【4】 力学的エネルギーの保存	①身の回りの仕事やエネルギーに興味・関心を持つ。 ②仕事とエネルギーの種類について理解する。 ③仕事、エネルギーと運動の関係について理解する。 ④エネルギー保存について理解する。 ⑤仕事とエネルギーの大きさを計算で求めることができる。	【物理基礎】 第17回 第18回 第19回
9	④	【1】 熱・熱量と熱機関、熱力学第1法則 【2】 物質の三態と熱の関係 【3】 熱の移動と保存 【4】 物質の三態と熱、内部エネルギー	①熱やエネルギーに興味・関心を持つ。 ②熱運動と温度について理解する。 ③熱量の保存について理解する。 ④熱の伝わり方について理解する。 ⑤熱量の計算ができる。	【物理基礎】 第20回 第21回 第23回
10	⑤	【1】 波の表し方と特徴 【2】 波の重ね合わせ 【3】 定常波 【4】 波の性質とその利用、気柱の固有振動	①身の回りの波に興味・関心を持つ。 ②波の性質と種類について理解する。 ③波の重ね合わせと定常波について理解する。 ④波の速度や変位、時間を計算で求めることができる。	【物理基礎】 第24回 第25回 第26回

11		<p>【1】 電気と原子核のエネルギー</p> <p>【2】 電流と電気抵抗</p>	<p>①電気や放射線に興味・関心を持つ。</p> <p>②電気や放射線の性質について理解する。</p> <p>③オームの法則について理解する。</p>	<p>【物理基礎】</p> <p>第31回</p>
12	⑥	<p>【3】 電流と電磁波、放射線の利用</p> <p>【4】 発電機のしくみ、電磁波</p>	<p>④電気と磁場の関係、磁力や地場の幹と磁力線について理解する。</p> <p>⑤電流や電圧、電気抵抗について計算で求めることができる。</p>	<p>第32回</p> <p>第40回</p>

### 評価方法

レポートの評価，スクーリングの出席状況，単位認定試験の功績を総合的に評価する。

科目名	単位数	教科書	添削指導数	面接指導数	
体育 a	3	大修館「現代高等保健体育」(保健体育 701)	3	15	
<b>学習目標</b>					
<p>体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p>					
知識及び技能		思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等		
<p>各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。</p>		<p>運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。</p>	<p>生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>		
<b>学習内容</b>					
月	回	内容	到達度目標	メディア	
4	①	1 単元 スポーツの発祥と発展	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツがどのように始まったのかを説明できる</li> <li>・なぜスポーツが世界中に広まったのかを説明できる</li> <li>・運動との比較から文化としてもスポーツの特徴を説明できる</li> <li>・多様なかわり方によるスポーツ文化の変容について例をあげて説明できる</li> </ul>	<p>【保健体育】</p> <p>第 6 回</p> <p>第 7 回</p> <p>【日本レクリエーション協会 健康チャンネル】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康スポーツ</li> <li>・スポーツウェルネス吹矢</li> <li>・カバディ</li> <li>・タッチラグビー</li> </ul>	
5		第 1 章 スポーツの始まりと変遷		<p>第 2 章 文化としてのスポーツ</p>	<p>【保健体育】</p> <p>第 8 回</p> <p>【日本レクリエーション協会 健康チャンネル】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インディアカ</li> <li>・フライングディスク</li> </ul>
6		第 3 章 オリンピックとパラリンピックの意義			
7	②	第 4 章 スポーツが経済に及ぼす効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリンピックとパラリンピックの価値について説明できる</li> <li>・パラリンピックの価値について具体例をあげながら、パラリンピックの意義について説明できる</li> <li>・スポーツが経済活動でどのように重要な役割を果たしているかを説明できる</li> <li>・スポーツに関わる業種について例をあげて説明できる</li> </ul>	<p>【保健体育】</p> <p>第 29 回</p> <p>【日本レクリエーション協会 健康チャンネル】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビリヤード</li> <li>・ダーツ</li> </ul> <p>【日本スポーツ協会】</p> <p>啓発動画「スポーツと環境～ スポーツの未来のために～」</p>	
9		第 5 章 スポーツの高潔さとドーピング			
10	③	第 6 章 スポーツと環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツの高潔さを脅かす要因について例をあげて説明できる</li> <li>・ドーピングがなぜスポーツを破壊する行為になるのかを具体的に説明できる</li> <li>・スポーツにおける環境問題について例をあげて説明できる</li> <li>・スポーツは環境とどのように調和していけばよいのか説明できる</li> </ul>	<p>【保健体育】</p> <p>第 29 回</p> <p>【日本レクリエーション協会 健康チャンネル】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビリヤード</li> <li>・ダーツ</li> </ul> <p>【日本スポーツ協会】</p> <p>啓発動画「スポーツと環境～ スポーツの未来のために～」</p>	
11					
12					
<b>評価方法</b>					
レポートの評価、スクーリングの出席状況、実技の功績を総合的に評価する。					

科目名	単位数	教科書	添削指導数	面接指導数
体育 b	2	大修館「現代高等保健体育」(保健体育 705)	2	10
<b>学習目標</b>				
体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。				
知識・技能		思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度	
各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。		運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。	
<b>学習内容</b>				
月	回	内容	到達度目標	メディア
4	①	2 単元 運動・スポーツの学び方 第1章 スポーツにおける技能と体力 第2章 スポーツにおける技術と戦術 第3章 技能の上達過程と練習	・技能と体力の関係について説明できる	【保健体育】 第13回 第14回  【体育実技】 第1回 第2回
5			・技能や体力を高めるときに気をつけるべき点をあげることができる	
6			・技能の型の違いやそれぞれの練習のしかたを説明できる	
7	②	第4章 効果的な動きのメカニズム 第5章 体力トレーニング	・用具の改良やメディアの発達などによる技術や戦術、ルールの変化を説明できる	【保健体育】 第20回 第21回  【体育実技】 第3回 第4回
9			・技能がどのようなステップアップを経て上達できるか説明できる	
10			・練習によって技能が上達すると、どのような特徴がみられるかをあげることができる	
11			・体の動きはどのようなしくみで開始され、持続しているのか説明できる	
12			・よい動きを支える調整力について例をあげて説明できる	
			・目的に応じたさまざまなトレーニングの方法を説明できる	
			・筋力、持久力、調整力、柔軟性を高める具体的な方法をあげることができる	
<b>評価方法</b>				
レポートの評価、スクーリングの出席状況、実技の功績を総合的に評価する。				

科目名	単位数	教科書	添削指導数	面接指導数
体育c	2	大修館「現代高等保健体育」(保健体育 705)	2	10
<b>学習目標</b>				
体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。				
知識及び技能		思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等	
各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。		運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。	
<b>学習内容</b>				
月	回	内容	到達度目標	メディア
4		2 単元 運動・スポーツの学び方 第6章 運動やスポーツでの安全の確保 ① 3 単元 豊かなスポーツライフの設計 第1章 生涯スポーツの見方・考え方 第2章 ライフスタイルに応じたスポーツ	・スポーツ外傷とスポーツ傷害の違いを説明できる ・スポーツ活動中に起きる重大な事故をあげ、その発生原因と予防方法を説明できる ・社会の変化にともなってスポーツの役割がどのように変化したのかを説明できる ・ライフステージに対応したスポーツの楽しみ方を説明できる	【保健体育】 第27回 第28回
5			・「する」スポーツライフスタイルについて例をあげ説明できる	【体育実技】 第5回 第6回
6			・現在の自分のスポーツライフの諸条件を整理し、今後の豊かな設計のための諸条件や工夫のしかたの例をあげられる	
7		3 単元 豊かなスポーツライフの設計 ② 第3章 スポーツを推進する取り組み 第4章 豊かなスポーツライフの創造	・国内でスポーツを推進してきた従来の取り組みを説明できる	【保健体育】 第38回
9			・自分が住んでいる身近な地域におけるスポーツ推進の取り組みについて例をあげられる	【体育実技】
10			・これまでとこれからのスポーツライフの違いを説明できる	第7回
11			・豊かなスポーツライフを創造していくための課題について例をあげて説明できる	第8回 第9回
12				第10回
<b>評価方法</b>				
レポートの評価、スクーリングの出席状況、実技の功績を総合的に評価する。				

科目名	単位数	教科書	添削指導数	面接指導数
保健 a	1	大修館「現代高等保健体育」(保健体育 705)	3	1
<b>学習目標</b>				
保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。				
知識及び技能		思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等	
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。		健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。	
<b>学習内容</b>				
月	回	内容	到達度目標	メディア
4			<ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな健康の考え方について例をあげて説明できる</li> <li>・健康を成り立たせている要因について例をあげて説明できる</li> <li>・我が国の健康水準の変化とその背景について説明できる</li> <li>・我が国の現在の健康問題について例をあげて説明できる</li> </ul>	
5		1 単元 現代社会と健康 第1章 健康の考え方と成り立ち 第3章 生活習慣病の予防と回復 第4章 がんの原因と予防 ① 第6章 運動と健康 第8章 休養・睡眠と健康 第9章 喫煙と健康 第10章 飲酒と健康 第11章 薬物乱用と健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活習慣病の種類と要因について説明できる</li> <li>・がんの種類や原因について説明できる</li> <li>・がんの一次予防と二次予防について例をあげて説明できる</li> <li>・健康と運動の関係について説明できる</li> <li>・目的に応じた健康的な運動のしかたについて例をあげて説明できる</li> <li>・健康と休養の関係及び適切な休養のとり方について説明できる</li> <li>・健康と睡眠の関係及び健康により睡眠のとり方について説明できる</li> <li>・喫煙者やその周囲の人に起こる害について説明できる</li> <li>・喫煙対策について、個人と社会に分けて例をあげて説明できる</li> <li>・飲酒による健康への短期的影響と長期的影響を説明できる</li> <li>・飲酒による健康問題に対する個人や社会環境への対策について例をあげて説明できる</li> <li>・薬物乱用が心身の健康や社会に及ぼす影響について説明できる。</li> </ul>	
6				

7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神疾患の例をあげ、発病の要因とおもな症状について説明できる</li> <li>・現代社会における精神保健の課題をあげることができる</li> <li>・精神疾患を予防する方法について説明できる</li> <li>・精神疾患の早期発見のために必要なことについて説明できる</li> <li>・精神疾患の治療について例をあげて説明できる</li> <li>・精神疾患の適切な治療や回復のためには、どのような社会環境が必要か説明できる</li> <li>・エイズがほかの感染症と異なる点について説明できる。</li> <li>・意志決定・行動選択に影響を与える要因について説明できる</li> <li>・健康に関する適切な意思決定・行動選択の際の工夫について例をあげて説明できる</li> </ul>
9	<p>第12章 精神疾患の特徴</p> <p>第13章 精神疾患の予防</p> <p>② 第14章 精神疾患からの回復</p> <p>第17章 性感染症・エイズとその予防</p> <p>第18章 健康に関する意思決定・行動選択</p>	
10		<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故の実態と被害の実態について説明できる</li> <li>・事故の発生には人的要因と環境要因が関連していることについて例をあげて説明できる</li> <li>・安全のために必要な個人の行動について例をあげて説明できる</li> <li>・すべての人たちの安全を確保するために必要な環境整備について例をあげて説明できる</li> <li>・交通事故防止における個人の取り組みと交通環境の整備について例をあげて説明できる</li> <li>・交通事故における責任を3つに分けて説明できる</li> <li>・応急手当の意義について説明できる</li> <li>・傷病者を発見したときに、確認・観察するポイントをあげることができる</li> <li>・日常的なけがや熱中症の応急手当の手順や方法について説明できる</li> <li>・実際に、日常的なけがや熱中症の応急手当ができる心肺蘇生法の方法と手順について説明できる</li> <li>・実際に、心肺蘇生法をおこなうことができる。</li> </ul>
11	<p>第2单元 安全な社会生活</p> <p>第1章 事故の現状と発生原因</p> <p>第2章 安全な社会の形成</p> <p>③ 第3章 交通における安全</p> <p>第4章 応急手当の意義とその基本</p> <p>第5章 日常的な応急手当</p> <p>第6章 心肺蘇生法</p>	
12		
<b>評価方法</b>		
レポートの評価，スクーリングの出席状況，単位認定試験の功績を総合的に評価する。		



科目名	単位数	教科書	添削指導数	面接指導数
保健 b	1	大修館「現代高等保健体育」(保健体育 705)	3	1
<b>学習目標</b>				
保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。				
知識及び技能		思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等	
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。		健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。	
<b>学習内容</b>				
月	回	内容	到達度目標	メディア
4			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフステージと健康の関連について説明できる</li> <li>・各ライフステージで活用できる社会からの支援について例をあげることができる</li> <li>・性意識の男女差について例をあげて説明できる</li> <li>・性情報が性行動の選択に影響を及ぼす例をあげることができる</li> </ul>	
5	①	3 単元 生涯を通じる健康 第 1 章 ライフステージと健康 第 3 章 性意識と性行動の選択 第 4 章 妊娠・出産と健康 第 5 章 避妊法と人工妊娠中絶 第 7 章 中高年期と健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠・出産の過程における健康問題について説明できる</li> <li>・妊娠・出産期に活用できる母子保健サービスの例をあげることができる</li> <li>・家族計画の意義と適切な避妊法について説明できる</li> <li>・人工妊娠中絶が心身に及ぼす影響について説明できる</li> <li>・加齢にともなう心身の変化について例をあげて説明できる</li> <li>・高齢社会に必要な社会的な取り組みについて例をあげて説明できる</li> </ul>	
6			<ul style="list-style-type: none"> <li>・働くことの意義と健康のかかわりについて説明できる</li> <li>・働き方や働く人の健康問題の変化について説明できる</li> <li>・労働災害の種類とその原因について例をあげて説明できる。</li> <li>・労働災害を防止するために必要なことをあげることができる。</li> <li>・職場がおこなう健康に関する取り組みについて例をあげて説明できる</li> <li>・余暇を積極的にとることの意義について説明できる</li> <li>・大気汚染の原因と健康への影響について例をあげて説明できる。</li> <li>・大気にかかわる地球規模の健康問題について例をあげて説明できる。</li> </ul>	
7		第 8 章 働くことと健康 第 9 章 労働災害と健康 第 10 章 健康的な職業生活		
9	②	4 単元 健康を支える環境づくり 第 2 章 水質汚濁、土壌汚染と健康 第 3 章 環境と健康にかかわる対策 第 4 章 ごみの処理と上下水道の整備		

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・水質汚濁,土壌汚染の原因とその健康影響を説明できる</li> <li>・大気, 水, 土壌にまたがる複合的な環境汚染の発生のしくみについて説明できる</li> <li>・環境汚染による健康被害を防ぐ方法について説明できる</li> <li>・産業廃棄物の処理について説明できる</li> <li>・ごみの処理の現状やその課題について説明できる</li> <li>・上下水道のしくみと健康にかかわる課題を説明できる</li> </ul>
10		<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品の安全性と健康にかかわりについて説明できる</li> <li>・食品の安全性に関する今日的課題を説明できる</li> <li>・食品の安全性を確保するための行政や製造者の役割について説明できる</li> <li>・食品の安全性を確保するための個人の役割について説明できる</li> </ul>
11	<p>第5章 食品の安全性</p> <p>第6章 食品衛生にかかわる活動</p> <p>③ 第7章 保健サービスとその活用</p> <p>第8章 医療サービスとその活用</p> <p>第9章 医薬品の制度とその活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健行政の役割について例をあげて説明できる。</li> <li>・保健サービスの活用の例をあげることができる。</li> <li>・わが国における医療保険のしくみについて説明できる</li> <li>・さまざまな医療機関の役割について説明できる</li> <li>・医薬品の正しい使用法について説明できる</li> <li>・医薬品の安全性を守る取り組みについて例をあげて説明できる</li> </ul>
12	<p>第10章 さまざまな保健活動や社会的対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際機関・民間機関などの保健活動について例をあげて説明できる</li> <li>・行政機関による社会的対策について例をあげて説明できる</li> </ul>

**評価方法**

レポートの評価, スクーリングの出席状況, 単位認定試験の功績を総合的に評価する。

科目名	単位数	教科書	添削指導数	面接指導数
音楽 I	2	教育出版「音楽 I Tutti+」(音 I 701)	6	8
<b>学習目標</b>				
音楽の幅広い活動を通して、生徒が個性を生かしながら思いや意図をもって表現したり味わって鑑賞したりする力を育成し、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てる。				
知識及び技能		思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等	
中学校音楽科の学習を踏まえ、楽曲固有のよさや美しさなどを味わうだけでなく、文化的・歴史的背景など広い視野で音楽を捉えて、我が国及び諸外国の音楽文化への理解を深める。		音や音楽が醸し出すよさや美しさなどを 感じ取り、価値を見いだせる感性を養う。 音や音楽を知覚・感受して、思考・判断し表現する音楽活動の過程を通して、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。	音や音楽と生活や社会との関わりについて考え、関心を高め、音楽の知的財産権を尊重する態度の形成を図る。	
<b>学習内容</b>				
月	回	内容	到達度目標	メディア
4	①	「音楽の基礎知識」	・音名、音部記号、変化記号について復習する。	【音楽 I】 第 1 回 第 2 回 第 20 回
5			・音楽を形作る要素に注目し、暮らしの中の音楽を考える。 ・自身と音楽の関わりについて考え、思いを言葉で表現する。	
6	②	「音符・休符と拍子」	・音符と休符の種類と長さについて復習する。 ・拍子について学習し、実際の曲の拍子について考える。 ・リズム作曲を通して創造性を養い、自分なりの表現をする。	
7	③	「日本の歌や外国の歌に親しもう」	・日本の歌や外国の歌に触れ、表現の方法を考える。 ・発声の仕組みを知る。 ・ライム（韻）について学び、理解する。	【音楽 I】 第 11 回 第 19 回 第 29 回
9	④	「楽器とコード」	・オーケストラの楽器やギターについて知る。 ・和音とコードネームについて学習し、理解する。 ・バレエ音楽「ボレロ」を鑑賞し、オーケストラの雰囲気味わったり、楽器の変化を感じ取ったりし、自分の言葉で感想をまとめる。	
10	⑤	「日本と世界の音楽」	・日本音楽史について理解を深める。 ・日本の民謡について理解を深める。 ・世界の音楽について興味関心を高め特徴を把握する。 ・日本の音階や西洋音楽で用いられる音階について知る。	【音楽 I】 第 5 回 第 13 回 第 25 回 第 39 回
11	⑥	「音楽形式と著作権」	・一部形式、二部形式について学び、理解する。	【音楽 I】 第 15 回 第 37 回
12			・ソナタ形式について知る。 ・著作権についての正しい知識を身につける。	
<b>評価方法</b>				
レポートの評価、スクーリングの出席状況を総合的に評価する。				

科目名	単位数	教科書	添削指導数	面接指導数
基礎英語	3	なし	9	12
<b>学習目標</b>				
<p>①中学校で指導される文法項目を中心とした基礎的な文法の学習を通し、後述の②～④の3つの基礎を身に付ける。</p> <p>②外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能の基礎を身に付ける。</p> <p>③コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力の基礎を身に付ける。</p> <p>④外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度の基礎を身に付ける。</p>				
<b>学習内容</b>				
回	内容	到達度目標	メディア	
①	英文法の基礎(アルファベット・記号) 英語の文の仕組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルファベットやピリオドなどの記号について理解を深める。</li> <li>・英語の文の仕組み(主語・動詞)について理解を深める。</li> </ul>		
②	be 動詞(現在形・過去形)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・be 動詞の用法について理解を深める。</li> <li>・be 動詞の現在形・過去形について理解を深める。</li> <li>・be 動詞の肯定文、否定文、疑問文について理解を深める。</li> </ul>	【ベーシック英語】 第4回 第5回 第13回	
③	一般動詞(現在形・過去形)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般動詞の用法について理解を深める。</li> <li>・一般動詞の現在形・過去形について理解を深める。</li> <li>・一般動詞の肯定文、否定文、疑問文について理解を深める。</li> </ul>	【ベーシック英語】 第8回 第9回 第14回	
④	疑問詞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・疑問詞の用法について理解を深める。</li> <li>・疑問詞の疑問文やそれに対する答え方について理解を深める。</li> </ul>	【ベーシック英語】 第10回 第22回 第23回	
⑤	進行形(現在進行形・過去進行形)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進行形の用法について理解を深める。</li> <li>・現在進行形と過去進行形の違いについて理解を深める。</li> <li>・進行形の肯定文、否定文、疑問文について理解を深める。</li> </ul>	【ベーシック英語】 第16回 第17回 第18回	
⑥	受動態	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動詞の屈折(変化)について理解を深める。</li> <li>・受動態の肯定文、否定文、疑問文について理解を深める。</li> </ul>	【ベーシック英語】 第30回 第31回 第32回	
⑦	to 不定詞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・to 不定詞の用法について理解を深める。</li> <li>・to 不定詞の慣用表現について理解を深める。</li> </ul>	【ベーシック英語】 第11回 第37回 第40回	
⑧	動名詞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動名詞の用法について理解を深める。</li> <li>・動名詞の慣用表現について理解を深める。</li> <li>・to 不定詞と動名詞の用法の違いについて理解を深める。</li> </ul>	【ベーシック英語】 第19回 第20回	

			第 21 回
⑨	総復習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レポート①～⑧までの範囲について復習し、全体の理解の確認をする。</li> <li>・レポート①～⑧までの範囲について復習し、全体の理解度を向上する。</li> </ul>	
<b>評価方法</b>			
レポートの評価，スクーリングの出席状況，試験の功績を総合的に評価する。			

科目名	単位数	教科書	添削指導数	面接指導数
英語コミュニケーション I	3	東京書籍「英語コミュニケーション I」 (All Aboard! English Communication I 701)	9	12
<b>学習目標</b>				
<p>日常的・社会的な話題について、必要な情報を聞き取り、話し手や書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えられるようになるとともに、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、話したり書いたりするなど、論理性に注意して伝え合えるようになる。</p>				
知識及び技能		思考力、判断力、表現力等	主体的に学習に取り組む態度	
<p>外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解し、外国語の音声、語彙・表現、文法の知識を身に付けている。</p> <p>外国語の音声、語彙・表現、文法を、4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。</p>		<p>場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について、情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語で的確に理解したり適切に表現したりしている。</p> <p>外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して、場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について外国語を話したり書いたりして、情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。</p>	<p>外国語の学習を通じて、言語やその背景にある文化を尊重し、自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p> <p>他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。</p>	
<b>学習内容</b>				
月	回	内容	到達度目標	メディア
4 5	①	Pre-Lesson 1・2 Lesson1 Lesson2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動詞の過去形を用いた文の形・意味・用法を理解する。</li> <li>・世界の朝食について学んだ事柄を用いて、好きな食べ物について、考えや好み、その理由を話して伝えられる。</li> <li>・好きな食べ物について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、自分の考えや好み、その理由を話したり書いたりして伝えられる。</li> <li>・好きな食べ物について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、自分の考えや好み、その理由を話したり書いたりして伝えられる。</li> </ul>	<p>【英語コミュニケーション1】</p> <p>第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回</p>
6	②	Lesson3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・助動詞 can, will を用いた文の形・意味・用法を理解している。</li> <li>・自分ができること・できないことについて、助動詞 can, will を用いて、情報や考えを話して伝え合う技能を身に付けている。</li> <li>・ある場所への行き方とそこでできること、自分ができること・できないことについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えを話したり書いたりして伝え合っている。</li> <li>・ある場所への行き方とそこでできること、自分ができること・できないことについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えを話したり書いたりして伝え合おうとしている。</li> </ul>	<p>【英語コミュニケーション1】</p> <p>第8回 第9回 第10回</p>

	③	Lesson4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ to 不定詞 (to+動詞の原形) を用いた文の形・意味・用法を理解している。</li> <li>・ to 不定詞 (to+動詞の原形) を用いて、情報や考え、気持ちを話して伝え合う技能を身につけている。</li> <li>・ 行ってみたい場所ややりたいことについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考え、気持ちを話したり書いたりして伝え合っている。</li> <li>・ 行ってみたい場所ややりたいことについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考え、気持ちを話したり書いたりして伝え合おうとしている。</li> </ul>	【英語コミュニケーション1】 第11回 第12回 第13回
7	④	Lesson5 Reading1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 動名詞 (動詞の-ing 形) を用いた文の形・意味・用法を理解している。</li> <li>・ 動名詞 (動詞の-ing 形) を用いて、考えや気持ち、情報などを話して伝え合う技能を身につけている。</li> <li>・ 将来の夢や先週末に楽しんだことについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、考えや気持ち、情報などを話したり書いたりして伝え合っている。</li> <li>・ 本文について相手に伝わりやすいように読む要点を捉えている。</li> <li>・ 将来の夢や先週末に楽しんだことについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、考えや気持ち、情報などを話したり書いたりして伝え合おうとしている。</li> <li>・ 本文について聞いている相手に伝わりやすいように読む要点を捉えようとしている。</li> </ul>	【英語コミュニケーション1】 第17回 第18回 第20回
9	⑤	Lesson6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 受け身 (be 動詞+過去分詞) を用いた文の形・意味・用法を理解している。</li> <li>・ 受け身 (be 動詞+過去分詞) を用いて、情報や考え、気持ちを話して伝え合う技能を身につけている。</li> <li>・</li> <li>好きな絵とその理由について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考え、気持ちを話したり書いたりして伝え合っている。</li> <li>・ 好きな絵とその理由について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考え、気持ちを話したり書いたりして伝え合おうとしている。</li> </ul>	
10	⑥	Lesson7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 比較表現 (-er) (the -est) (as+原級+as) を用いた文の形・意味・用法を理解している。</li> <li>・ 関心のある人物について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考え、気持ちを話したり書いたりして伝え合っている。</li> <li>・ 関心のある人物について、相手の意見を知り、自分の</li> </ul>	【英語コミュニケーション1】 第23回 第24回 第25回

			考えをまとめるために、情報や考え、気持ちを話したり書いたりして伝え合おうとしている。	
	⑦ Lesson8		<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在完了形 (have[has]+過去分詞) を用いた文の形・意味・用法を理解している。</li> <li>・ロボットについて自分で調べた事柄を用いて、人の生活を豊かにするロボットのアイデアを考えて、それを提案する記事を書いたり話したりしている。</li> <li>・ロボットについて自分で調べた事柄を用いて、人の生活を豊かにするロボットのアイデアを考えて、それを提案する記事を書いたり話したりしようとしている。</li> </ul>	【英語コミュニケーション1】 第26回 第27回 第28回
11	⑧ Lesson9		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「名詞を後ろから説明する分詞」が用いられた文の形・意味・用法を理解している。</li> <li>・プラスチックごみの問題について自分たちにできることについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合っている。</li> <li>・プラスチックごみの問題について自分たちにできることについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合おうとしている。</li> </ul>	【英語コミュニケーション1】 第29回 第30回 第31回 第32回 第33回
12	⑨ Lesson10		<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係代名詞 who, which を用いた文の形・意味・用法を理解している。</li> <li>・海外の文化や社会を理解するためにできることについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合っている。</li> <li>・海外の文化や社会を理解するためにできることについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合おうとしている。</li> </ul>	【英語コミュニケーション1】 第34回 第35回 第36回 第37回 第38回
<b>評価方法</b>				
レポートの評価、スクーリングの出席状況、単位認定試験の功績を総合的に評価する。				



科目名	単位数	教科書	添削指導数	面接指導数
英語コミュニケーションⅡ	4	東京書籍「英語コミュニケーションⅡ」 (All Aboard! English Communication II 701)	12	16

### 学習目標

日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、

1. 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。
2. 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。
3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。
4. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。
5. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	主体的に学習に取り組む態度
<p>外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解し、外国語の音声、語彙・表現、文法の知識を身に付けている。</p> <p>外国語の音声、語彙・表現、文法を、4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。</p>	<p>場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について、情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語での確に理解したり適切に表現したりしている。</p> <p>外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して、場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について外国語を話したり書いたりして、情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。</p>	<p>外国語の学習を通じて、言語やその背景にある文化を尊重し、自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p> <p>他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。</p>

### 学習内容

月	回	内容	到達度目標	メディア
4	①	Pre-Lesson 1・2 Lesson 1 Let's Listen 1 Communication 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ to 不定詞、助動詞 will、関係代名詞 what を用いた文の形・意味・用法を理解する。</li> <li>・ 今年やってみようことなどを整理して、相手が理解しやすいように伝えられる。</li> <li>・ 海外の観光地に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、海外でやってみよう場所やそこでやりたいことについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考え、気持ちなどを話したり書いたりして伝え合うことができる。</li> <li>・ ホテルをチェックインするときに使われる文の形・意味を理解する。</li> <li>・ 病院で診察を受けるにあたり、症状や気分を説明する仕方を理解している。</li> </ul>	
5	②	Lesson 2 Word Box 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 比較表現&lt;more&gt;&lt;the most&gt;を用いた文の形・意味・用法を理解している。</li> <li>・ 好きな人物について自分で調べた事柄を用いて、理由</li> </ul>	

		<p>などを話して伝え合う技能を身につけている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感覚や感情を表す単語や表現を用いて、自分がどんなときにどんな感情になるのかということについて、的確に書いて伝えられる。</li> </ul>	
	<p>③ Lesson3 文法のまとめ 1</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ it を用いた文&lt;It is ... (for ~) to ~&gt; &lt;It is ... that ~&gt; の形・意味を理解している。</li> <li>・ 「関係代名詞」「比較表現」「it の用法」を用いた文の形・意味・用法を理解している。</li> <li>・ 行ってみたい場所ややりたいことについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考え、気持ちを話したり書いたりして伝え合っている。</li> <li>・ 行ってみたい場所ややりたいことについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考え、気持ちを話したり書いたりして伝えられる。</li> </ul>	<p>【英語コミュニケーションⅡ】 第 9 回 第 10 回 第 11 回</p>
6	<p>④ Lesson4 Little Hero Let's Listen2 Extra Target1</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「関係疑問文」「現在完了進行形&lt;have + been + 動詞の-ing&gt;」を用いた文の形・意味・用法を理解している。</li> <li>・ ある地域の特徴や位置についての説明する文の形・意味を理解している。</li> <li>・ 物語の文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、好きな物語について、自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを話したり書いたりして伝えられる。</li> <li>・</li> </ul>	<p>【英語コミュニケーションⅡ】 第 12 回 第 13 回 第 14 回 第 15 回</p>
7	<p>⑤ Word Box 2 Lesson5 Word Box 3</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ to 不定詞を含む表現を用いた文の形・意味・用法を理解している。</li> <li>・ 平日の生活でよく使われる語句や表現を用いた文の形・意味を理解している。</li> <li>・ 服装についての対話でよく使われる語句や表現を用いた文の形・意味を理解している。</li> <li>・ 日本の伝統文化について、相手の意見を知り、自分の考えなどを話したり書いたりして伝え合っている。</li> <li>・ 服装についての対話でよく使われる語句や表現を用いた文の形・意味を理解している。</li> </ul>	<p>【英語コミュニケーションⅡ】 第 16 回 第 17 回</p>
8	<p>⑥ Reading1 文法のまとめ 2 Lesson6</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「間接疑問文」「to 不定詞を含む表現」「動詞の形と『時』の関係」を用いた文の形・意味・用法を理解している。</li> <li>・ 英語で書かれた <i>Mujina</i> を、情景や登場人物の心情が、聞いている相手に伝わりやすいように読む要点を捉えている。</li> <li>・ 動詞の目的語になる if 節の理解をもとに、京野菜について学んだり、地元の有名な場所やものについて自分で調べた事柄を用いたりして、地元の有名な場所やものについて紹介するポスターを作成して、考えや情報などを</li> </ul>	

		話して伝え合う技能を身につけている。	
9	⑦	Word Box4 Lesson7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事や職業を表すのによく使われる語句や表現を用いて、将来つきたい職業とその理由について、的確に書いて伝えることができる。</li> <li>・関係副詞 <b>where, when</b> を用いた文の形・意味を理解している。</li> <li>・世界中で壁画を描く活動に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、外国の人々と交流する方法について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを話して伝え合う技能を身につけている。</li> <li>・海外旅行先の空港で入国審査の手続きをするにあたり、旅行の目的や滞在日数などを申告する仕方を理解している。</li> </ul>
	⑧	Getting Necessary Information Lesson8 文法のまとめ 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的地までの行き方を案内するにあたり、地下鉄の路線図を見ながら説明する仕方を理解している。</li> <li>・「動詞の目的語になる if 節」「関係副詞」「知覚動詞」を用いた文の形・意味・用法を理解している。</li> <li>・知覚動詞の理解をもとに、生物模倣について学んだり、自然界のデザインをヒントに開発された製品について自分で調べた事柄を整理・理解している。</li> </ul>
10	⑦	Lesson9 エッセイライティング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使役動詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。</li> <li>・チョコレートをめぐる社会問題とその解決策について学んだり、その問題について調べた事柄を整理・理解している。</li> <li>・英語でエッセイを書くために必要な情報や感想・意見などをまとめて、それらをエッセイの構成要素として使うことを理解している。</li> </ul>
	⑧	Lesson9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「名詞を後ろから説明する分詞」が用いられた文の形・意味・用法を理解している。</li> <li>・プラスチックごみの問題について自分たちにできることについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合っている。</li> <li>・プラスチックごみの問題について自分たちにできることについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合おうとしている。</li> </ul>
11	⑦	Lesson8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在完了形 (have[has]+過去分詞) を用いた文の形・意味・用法を理解している。</li> <li>・ロボットについて自分で調べた事柄を用いて、人の生活を豊かにするロボットのアイデアを考えて、それを</li> </ul>

		<p>提案する記事を書いたり話したりしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ロボットについて自分で調べた事柄を用いて、人の生活を豊かにするロボットのアイデアを考えて、それを提案する記事を書いたり話したりしようとしている。</li> </ul>	
	⑧ Lesson9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「名詞を後ろから説明する分詞」が用いられた文の形・意味・用法を理解している。</li> <li>・プラスチックごみの問題について自分たちにできることについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合っている。</li> <li>・プラスチックごみの問題について自分たちにできることについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合おうとしている。</li> </ul>	
12	⑨ Lesson10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係代名詞 <b>who, which</b> を用いた文の形・意味・用法を理解している。</li> <li>・海外の文化や社会を理解するためにできることについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合っている。</li> <li>・海外の文化や社会を理解するためにできることについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合おうとしている。</li> </ul>	
<b>評価方法</b>			
レポートの評価，スクーリングの出席状況，単位認定試験の功績を総合的に評価する。			

科目名	単位数	教科書	添削指導数	面接指導数
論理・表現 I	2	東京書籍「論理・表現 I」 (NEW FAVORITE English Logic and Expression I 701)	6	8
<b>学習目標</b>				
基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、やり取りを話したり書いたりして通して伝え合うことができるようになる。				
知識及び技能		思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等	
外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解し、外国語の音声、語彙・表現、文法の知識を身に付けている。  外国語の音声、語彙・表現、文法を、4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。		場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について、情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語で的確に理解したり適切に表現したりしている。  外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して、場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について外国語を話したり書いたりして、情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。	外国語の学習を通じて、言語やその背景にある文化を尊重し、自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。  他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。	
<b>学習内容</b>				
月	回	内容	到達度目標	メディア
4 5	①	Unit1 Lesson1 Lesson2 Lesson3	<ul style="list-style-type: none"> <li>褒める・勧める・断る際の表現を身に付ける。</li> <li>提案する・依頼する・道順を説明する際の表現を身に付ける。</li> <li>身近な人を紹介する際の表現や聞き手の注意を引くコツを身に付ける。</li> <li>未来表現・可算名詞・不可算名詞・受動態・現在完了形と過去形・to不定詞と動名詞などの語法を意識しながら、重要表現を身に付け、自分の考えや意見を述べることができる。</li> </ul>	
6	②	Lesson4 Lesson5 Lesson6	<ul style="list-style-type: none"> <li>症状の伝え方・体調の尋ね方・指示やアドバイスの仕方を学習する。</li> <li>食材にまつわる表現・探しているものについて描写する方法・相づちの打ち方を身に付ける。</li> <li>自分が希望することやその理由を読み手に分かりやすく述べるコツを習得する。</li> <li>冠詞・人称代名詞・助動詞 should と had better・現在形と現在進行形・現在完了形と過去形・後置修飾・to不定詞と動名詞などの語法を意識しながら、重要表現を身に付け、自分の考えや意見を述べることができる。</li> </ul>	
7	③	Lesson7 Lesson8 Lesson9	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語での誘い方・誘いの受け方・誘いの断り方について学習する。</li> <li>状況を説明する・手助けを申し出る・助言や提案をする・お礼や感謝を伝える際の英語表現を身に付ける。</li> <li>映画や本のあらすじを要約する方法・登場人物などを</li> </ul>	

			<p>紹介する表現・感想や批評を述べるコツを習得する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・未来表現・前置修飾・後置修飾などの語法を意識しながら、重要表現を身に付け、自分の考えや意見を述べることができる。</li> </ul>
9	④	<p>Lesson10</p> <p>Lesson11</p> <p>Lesson12</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手に謝る・相手を許す・相手を励ます際の英語表現を学習する。</li> <li>・共感や残念な気持ちを述べたり、解決策を提案する際に役立つ英語表現を身に付ける。</li> <li>・理由とともに要望や主張を述べるパラグラフの書き方を習得する。</li> <li>・使役動詞・to不定詞と動名詞・仮定法などの語法を意識しながら、重要表現を身に付け、自分の考えや意見を述べることができる。</li> </ul>
10	⑤	<p>Unit2</p> <p>Lesson1</p> <p>Lesson2</p> <p>Lesson3</p> <p>Lesson4</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的なディベートの流れについて知る。</li> <li>・主張やその理由の述べ方・具体例の挙げかたを学習する。</li> <li>・相手の意見に反駁する方法・相手の意見を引用する方法を学ぶ。</li> <li>・できごとを生き生きと描写するコツ・経験から得た教訓などをアドバイスする方法を習得する。</li> <li>・ルールや手順を順序立てて説明する方法・聞き手の知識に合わせて説明する方法を身につける。</li> <li>・to不定詞と動名詞・否定語の使い方・後置修飾・受動態・現在完了形と過去形などの語法を意識しながら、重要表現を身に付け、自分の考えや意見を述べるができる。</li> </ul>
11	⑥	<p>Lesson5</p> <p>Lesson6</p> <p>Lesson7</p> <p>Lesson8</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事実と意見を区別して述べる方法や文化や習慣を説明する際の英語表現を学習する。</li> <li>・利点と欠点の述べ方・話題を発展させる方法・話題の変え方を押さえる。</li> <li>・自分の主張について理由を述べる方法、理由の要約の仕方を学ぶ。</li> <li>・人の発言を直接引用する方法・条件を出して意見を述べる方法・説得する方法を身につける。</li> <li>・and, but, so・名詞と無生物主語などの語法を意識しながら、重要表現を身に付け、自分の考えや意見を述べることができる。</li> </ul>
12			
<b>評価方法</b>			
レポートの評価，スクーリングの出席状況，単位認定試験の功績を総合的に評価する。			

科目名	単位数	教科書	添削指導数	面接指導数
論理・表現Ⅱ	2	東京書籍「論理・表現Ⅱ」 (NEW FAVORITE English Logic and Expression II 701)	6	8
<b>学習目標</b>				
一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、				
1. 文脈にあった質問や答えを続けることで、情報や考え、気持ちなどを詳しく伝え、立場や状況が異なる相手と交渉することができる。				
2. 論理の構成や展開を工夫することで、情報や考え、気持ちなどを、詳しく話して伝えることができる。				
3. 論理の構成や展開を工夫することで、情報や考え、気持ちなどを、詳しく書いて伝えることができる。				
知識及び技能		思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等	
外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解し、外国語の音声、語彙・表現、文法の知識を身に付けている。 外国語の音声、語彙・表現、文法を、4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。		場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について、情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語で的確に理解したり適切に表現したりしている。 外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して、場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について外国語を話したり書いたりして、情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。	外国語の学習を通じて、言語やその背景にある文化を尊重し、自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。	
<b>学習内容</b>				
月	回	内容	到達度目標	メディア
4	①	Unit1 Lesson1 Lesson2 Lesson3 Lesson4	・訂正する、心配する、感謝するときの表現の形・意味・用法を理解している。 ・驚く、繰り返す、言い換えるときの表現を適切に運用し、自分の考えや気持ちなどを詳しく表現する技能を身に付けている。 ・注意を引く、同意を求めるとき表現の形・意味・用法を理解している。 ・相手の立場や状況を理解し、適切な表現を用いて、自分の望みを伝えたり、相手のすばらしいところを褒めたりして、	
5	②	Lesson5 Lesson6 Lesson7 Lesson8	・学んだ知識を用いて、誘う、説明する、聞き直す、依頼する、困ったことを伝える・説明する、控えめに依頼するなどときの表現を適切に運用し、自分の考えや気持ちなどを詳しく表現する技能を身に付けている。 ・相手の立場や状況を理解し、適切な表現を用いて、1つのテーマに沿って話しながら、自説を要約したり文意をわかりやすくするために言い換えたりして、自分の考えや気持ちなどを詳しく表現している。	
6	③	Lesson9 Lesson10 Lesson11	・依頼する、提案する、仮定する、反対するときの表現の形・意味・用法を理解している。 ・相手の知識や状況を理解し、適切な表現を用いて、1つ	

		Lesson12	<p>のテーマに沿って話しながら、さまざまな視点で比較して説明したりして、自分の考えや気持ちなどを詳しく表現できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学んだ知識を用いて、説明する、理由を述べる、仮定するときの表現を適切に運用し、自分の考えや気持ちなどを詳しく表現する技能を身につけている。</li> </ul>
7	④	Unit2 Lesson1 Lesson2 Lesson3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、論理的に推論したり、理由を説明したりして、自分の考えや気持ちなどを詳しく表現する技能を身につけている。</li> <li>・主張する、推論する、賛成・反対するときの表現の形・意味・用法を理解している。</li> <li>・学んだ知識を用いて、推論する、説得するときの表現を適切に運用し、自分の考えや気持ちなどを詳しく表現する技能を身につけている。</li> </ul>
9	⑤	Lesson4 Lesson5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の知識や状況を理解し、適切な表現を用いて、1つのテーマに沿って話しながら、さまざまな報告をしたり、自分の望みを伝えたりして、自分の望みを伝えたりして、自分の考えや気持ちなどを詳しく表現している。</li> <li>・学んだ知識を用いて、仮定する、推論するときの表現を適切に運用し、自分の考えや気持ちなどを詳しく表現する技能を身につけている。</li> </ul>
10	⑥	Lesson6 Lesson7 Lesson8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の知識や状況を理解し、適切な表現を用いて、仮定したり、論理的に推論したりして、自分の考えや気持ちなどを詳しく表現している。</li> <li>・学んだ知識を用いて、比較する、類似点と相違点を説明するときの表現を適切に運用し、自分の考えや気持ちなどを詳しく表現する技能を身につけている。</li> </ul>
11		<ul style="list-style-type: none"> <li>・主張する、説得するときの表現の形・意味・用法を理解している。</li> </ul>	
<b>評価方法</b>			
レポートの評価，スクーリングの出席状況，単位認定試験の功績を総合的に評価する。			



科目名	単位数	教科書	添削指導数	面接指導数
家庭基礎	2	東京書籍「家庭基礎」(家庭基礎 701)	4	4
<b>学習目標</b>				
<p>○生活を科学的に理解し、自立した生活者に必要な知識・技能を身に付けている。</p> <p>○家族・家庭や社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、その解決のために、生活を科学的に探究し、生涯を見通して生活を創造している。</p> <p>○自立した生活者に必要な知識・技能を身に付け、地域社会に参画し、共に支え合う社会の実現に向けて、家庭や地域の生活を創造し、主体的に実践しようとしている。</p>				
知識及び技能		思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等	
生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。		生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	
<b>学習内容</b>				
月	回	内容	到達度目標	メディア
4			○生活課題に対して意思決定を行う重要性を理解し、歩みたい人生の目標を描く。	
5		[1]目標を持って生きる [2]超高齢社会について [3] ワークライフバランス	○超高齢社会の背景を知ったうえで、高齢者が生きがいを持って生活するためには、家族や地域によるどのような支援が必要か理解する。	【家庭総合】 第3回 第4回 第5回
6	①	[4] 子どもの発達過程について [5]子どもの育つ力を知る [6] 誰もが暮らしやすい社会について、子どもと関わる	○職業労働と家事労働の違いを理解し、見直される性別役割分業意識を自分自身にも関わることと意識する。 ○子どもの発達過程について理解する。 ○子どもの発達に応じて適切に関われるようになるために、子どもが生まれつき持っている能力や心身の発達について理解する。	
7		[1]超高齢・大衆長寿社会の到来 [2]高齢者の心身の特徴	○子どもが健康・快適・安全に育つ環境を整えられるようになるために、子どもの生活習慣や衣食住について理解する。	
9	②	[3]共に生き、共に支える [4]社会保障の考え方 [5]食生活をつくる [5]共に生きる	○超高齢社会の背景を理解する。 ○高齢者が生きがいを持って生活するためには、家族や地域によるどのような支援が必要か、考える。 ○加齢に伴う心身の変化や高齢者の生き方や尊厳について理解を深める。 ○高齢期を支える社会の仕組みや課題について考える。 ○誰もが生涯を通して自分の力を生かし、必要に応じて援助を得ながら安心して暮らせる社会に向けて、家族・家庭	

		生活を支える福祉について理解する。 ○よりよい食習慣を身につけ、生涯を健康に過ごすために、食生活の課題や食事の意義、食生活を取り巻く環境の変化などを理解する。	
10		○自分や家族が健康に過ごす食生活に役立てるために、栄養素の種類と機能や食品の栄養的特質や調理性について、科学的な理解を深める。	
11		○郷土食や行事食などのよいところを継承・創造するために、日本の食文化の特徴を確認する。また、世界の食文化にも関心を持ち、私たちの食生活への影響に気づく。	
	③	○人間が被服を着用するに至った、社会的・文化的背景と被服の多様な機能や特徴について理解する。また、用途に合った着装を実践できる力を身につけるために、社会生活を営むうえでの被服の役割を理解する。 ○日本の衣生活の変遷や日本の衣文化に込められる知恵や技術について知り、日本の民族衣装としての和服や世界の民族衣装について理解する。 ○食生活の自立に必要な調理の知識と技術を身につけるために、調理や加工によりおいしさが変化することを科学的に捉える。	【家庭総合】 第 23 回 第 24 回 第 25 回
		[1]食事と栄養・食品 [2]食生活の文化と知恵 [3]衣生活について [4]衣生活をつくる [5]調理の基礎,衣生活を考える	
12	④	○生涯を見通した住生活について考え、将来に向けて自立するために、私たちの毎日の生活を支え生活拠点ともなる住居の機能やライフステージごとの住欲求を理解する。 ○自らの住生活に生かすことができるよう、防災、日照、換気などに関する環境性能について理解を深め、快適かつ健康、安全な生活を行う場となる住居の条件を理解する。 ○毎日の生活におけるさまざまな契約について理解する。 ○販売方法や支払い方法が多様化する中で責任ある消費行動が取れるよう、契約の重要性について理解する。 ○持続可能な社会を構築するために、持続可能な消費や生活について理解し、ライフスタイルを工夫する。 ○一人の主体者として、社会全体をよりよい方向に動かしていこうとする。 ○個人間取引でのトラブルにおける対応策を自分なりに考え、意見を持つ。 ○消費者問題を予防し適切に対応できるよう、消費者保護制度について理解する。	
		[1]住生活の変遷 [2]安全で快適な住生活の計画 [3]住生活をつくる [4]購入・支払いのルールと方法 [5]持続可能な社会を目指して [6]個人間取引におけるトラブル対策と消費者の権利と責任	
<b>評価方法</b>			
レポートの評価、スクーリングの出席状況、単位認定試験の功績を総合的に評価する。			

科目名	単位数	教科書	添削指導数	面接指導数
家庭総合	4	家庭総合 自立・共生・創造（東京書籍 家総701）	8	8
<b>学習目標</b>				
生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。				
知識及び技能		思考力、判断力、表現力等	主体的に学習に取り組む態度	
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。		家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。	
<b>学習内容</b>				
月	回	内容	到達度目標	メディア
4	①	第1章 生涯を見通す	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達段階と生涯発達について理解を深める</li> <li>・自立について理解を深める</li> <li>・意思決定について理解を深める</li> <li>・資源と生活設計について理解を深める</li> </ul>	
5		<ol style="list-style-type: none"> <li>1 人生を展望する</li> <li>2 目標を持って生きる</li> </ol>		
6	②	第2章 人生をつくる <ol style="list-style-type: none"> <li>1 人生をつくる</li> <li>2 家族・家庭を見つめる</li> <li>3 これからの家庭生活と社会</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人生をつくることについて理解を深める</li> <li>・家族・家庭について理解を深める</li> <li>・家庭生活と労働について理解を深める</li> </ul>	<b>【家庭総合】</b> 第3回 第4回 第5回
7	③	第3章 子どもと共に育つ <ol style="list-style-type: none"> <li>1 命を育む</li> <li>2 子どもの育つ力を知る</li> <li>3 子どもと関わる</li> <li>4 子どもとの触れ合いから学ぶ</li> <li>5 これからの保育環境</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの発達について理解を深める</li> <li>・子どもの発達過程について理解を深める</li> <li>・子どもの生活と保育について理解を深める</li> <li>・子どもとの触れ合いについて理解を深める</li> </ul>	<b>【家庭総合】</b> 第6回 第7回 第8回
9	④	第4章 超高齢社会を共に生きる <ol style="list-style-type: none"> <li>1 超高齢・大衆長寿社会の到来</li> <li>2 高齢期の心身の特徴</li> <li>3 高齢者の自立を支える</li> <li>4 これからの超高齢社会</li> </ol> 第5章 共に生き、共に支える <ol style="list-style-type: none"> <li>1 私たちの生活と福祉</li> <li>2 社会保障の考え方</li> <li>3 共に生きる</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・超高齢・大衆長寿社会の到来について理解を深める</li> <li>・高齢期の心身の特徴について理解を深める</li> <li>・社会保障について理解を深める</li> <li>・共に生き、共に支えることについて理解を深める</li> <li>・生活と福祉、社会保障の考え方について理解を深める</li> <li>・ユニバーサルデザインについて理解を深める</li> </ul>	<b>【家庭総合】</b> 第12回 第13回 第14回
10	⑤	第6章 食生活をつくる <ol style="list-style-type: none"> <li>1 食生活の課題について考える</li> <li>2 食事と栄養・食品</li> <li>3 食品の選択と安全</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食生活の課題について理解を深める</li> <li>・食中毒予防について理解を深める</li> <li>・食事と栄養について理解を深める</li> <li>・生活リズムについて理解を深める</li> </ul>	<b>【家庭総合】</b> 第23回 第24回 第25回

⑥	第6章 食生活をつくる 4 生涯の健康を見通した食事計画 5 調理の基礎 6 食生活の文化と知恵 7 これからの食生活	・生涯の健康を見通した食事計画について理解を深める ・食生活について理解を深める ・調理実習の基本について理解を深める ・食生活の文化と知恵について理解を深める ・食品ロスについて理解を深める	
11 ⑦	第7章 衣生活をつくる 1 被服の役割を考える 2 被服を入手する 3 被服を管理する	・衣生活について理解を深める ・被服の特徴や役割について理解を深める ・被服の管理について理解を深める ・身の回りの被服について理解を深める	
12 ⑧	第9章 経済生活を営む 1 情報の収集・比較と意思決定 2 購入・支払いのルールと方法 3 消費者の権利と責任 4 生涯の経済生活を見通す 5 家計をマネジメントする 6 これからの経済生活	・消費生活について理解を深める ・購入と支払いについて理解を深める ・消費者の権利や経済的自立について理解を深める ・家計のマネジメントについて理解を深める ・クレジットカードについて理解を深める	

**評価方法**

レポートの評価，スクーリングの出席状況，単位認定試験の功績を総合的に評価する。

科目名	単位数	教科書	添削指導数	面接指導数
情報 I	2	東京書籍「情報 I」(情報 I 701)	4	4
<b>学習目標</b>				
<p>○情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識と技能を身に付け、情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解している。</p> <p>○事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用している。</p> <p>○情報社会との関わりについて考え、問題の発見・解決に向け主体的に情報及び情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。</p>				
知識及び技能		思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等	
効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解し、技能を身につけているとともに、情報社会と人との関わりについて理解している。		事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。	
<b>学習内容</b>				
月	回	内容	到達度目標	メディア
4	①	【1】 情報とメディア	・ 情報の特徴について理解する	
5		【2】 情報モラル、情報技術の発展	・ メディアの特性について理解する	
6		【3】 デジタルについて 【4】 Word で文章をつくる	・ 情報モラルを身に付ける ・ 知的財産権について理解する ・ 情報技術の発展について理解する ・ デジタルについて理解する	
7	②	【1】 コンピュータの構成	・ コンピュータの構成について理解する	【情報 I】 第 11 回 第 12 回 第 13 回
9		【2】 演算の仕組み 【3】 プログラムとシミュレーションについて 【4】 主体的に考える 【5】 Word で文章をつくる	・ 演算の仕組みについて理解する ・ プログラムとシミュレーションについて理解する ・ WebAPI について理解する ・ Word を使えるようになる	
10	③	【1】 インターネットの仕組みと URL	・ インターネットの仕組みと URL について理解する	【情報 I】 第 18 回 第 19 回 第 20 回
11		【2】 情報セキュリティについて 【3】 データの種類とデータベースの活用事例について 【4】 Excel の使い方について	・ 情報セキュリティと、種類について理解する ・ データについて理解する ・ データベースの活用事例を理解する ・ Excel の使い方を理解する	

12	④	<p>【1】 様々な情報の手法,専門用語について</p> <p>【2】 問題解決ツールについて</p> <p>【3】 主体的に考える</p> <p>【4】 Excel で表を作成する</p>	<p>以下の実習項目について,重要なポイントが理解できている</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発想法</li> <li>・インタビューと検索</li> <li>・情報デザイン</li> <li>・図解表現の方法と手順</li> <li>・プログラミングツール</li> <li>・表現方法</li> <li>・専門用語</li> <li>・問題解決ツール</li> <li>・著作権と電子メールの不適切表現</li> <li>・Excel で表を作成できる</li> </ul>	
----	---	---	---	--

**評価方法**

レポートの評価,スクーリングの出席状況,単位認定試験の功績を総合的に評価する。

科目名	単位数	教科書	添削指導数	面接指導数
キャリア実践 a	2	なし	4	2
<b>学習目標</b>				
卒業後の進路や大学の学部や業種など進学、就職の選択肢を学ぶことで、よりよい進路選択につなげられるようにする。				
<b>学習内容</b>				
月	回	内容	到達度目標	
4 5	①	卒業後の進路選択について	・卒業後の進路選択にどのようなものがあるかを俯瞰的にとらえる。	
6 7	②	キャリアプランについて	・キャリアプランとは何かを理解する。 ・キャリアプランの立て方を理解する。	
9 10	③	就職について	・高校卒業後の就職のメリットとデメリットを理解する。 ・就職先の選択肢にどのようなものがあるか俯瞰的にとらえる。	
11 12	④	進学について	・高校卒業後の進学のメリットとデメリットを理解する。 ・進学先の選択肢にどのようなものがあるか俯瞰的にとらえる。	
<b>評価方法</b>				
キャリア実践では、単位認定試験は実施せず、添削指導の提出状況、面接指導の出席状況および受講態度等を総合的に判断して単位認定に値すると判断した場合は所定の単位を与える。				

科目名	単位数	教科書	添削指導数	面接指導数
キャリア実践b	2	なし	4	2
<b>学習目標</b>				
自分自身の卒業後の進路の方向性を定め、そのために何をしなければならないか、必要な情報を収集し、まとめられることを目指す。				
<b>学習内容</b>				
月	回	内容	到達度目標	
4 5	①	進路の方向性の決め方	・進路の方向性の決め方を学び、自分自身の進路の方向性を定める。	
6 7	②	進路実現のために必要なこと①	・現段階で進路実現のために必要なことを考え、計画を立てる。	
9 10	③	進路実現のために必要なこと②	・進路実現のための計画を実施し、その進捗を客観視する。	
11 12	④	進路実現のために必要なこと③	・今後の進路実現のために必要なこと計画を再度考え、進路実現に向けたうごきを定める。	
<b>評価方法</b>				
キャリア実践では、単位認定試験は実施せず、添削指導の提出状況、面接指導の出席状況および受講態度等を総合的に判断して単位認定に値すると判断した場合は所定の単位を与える。				



科目名		単位数	教科書	添削指導数	面接指導数
キャリア実践c		2	なし	4	2
<b>学習目標</b>					
自分自身が定めた進路や将来を実現するために、自己認識を深めるとともに、必要な知識と実践する力を身に付けることを目指す。					
<b>学習内容</b>					
月	回	内容	到達度目標		
4 5	①	履歴書の書き方	・適切な表現方法を学び、それを実践することができる。		
6 7	②	進路分析	・具体的な進路を絞り、自らの価値観と目指す先の価値観への理解を深める。		
9 10	③	志望理由書の書き方	・志望理由書を書くことを通じて、自分の進路への思いを論理的に整理すると共に、自己の在り方を問い直す。		
11 12	④	面接対策	・面接時行われる質問に対して適切に応じられる準備を整えるとともに、課題を自ら見つけ、解決するために練習をする。		
<b>評価方法</b>					
キャリア実践では、単位認定試験は実施せず、添削指導の提出状況、面接指導の出席状況および受講態度等を総合的に判断して単位認定に値すると判断した場合は所定の単位を与える。					

科目名	単位数	教科書	添削指導数	面接指導数
総合的な探究の時間 a	1	なし	2	2
<b>学習目標</b>				
自己分析を通して、自分の在り方や生き方を考えるとともに、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解することを目指す。				
<b>学習内容</b>				
月	回	内容	到達度目標	
4	①	自己分析をしてみよう！①	・自分自身の長所と短所を客観視することで、課題発見の解決に必要な知識及び技能を身に付ける。	
5				
6				
7				
9	②	自己分析をしてみよう！②	・自分自身の行動を振り返ることで、改善点を見出し、自身の課題発見と解決策を見つけられる。	
10				
11				
12				
<b>評価方法</b>				
総合的な探究の時間では、単位認定試験は実施せず、添削指導の提出状況、面接指導の出席状況および受講態度等を総合的に判断して単位認定に値すると判断した場合は所定の単位を与える。				

科目名	単位数	教科書	添削指導数	面接指導数
総合的な探究の時間 b	1	なし	2	2
<b>学習目標</b>				
自身で立てた目標を達成するための計画づくりを通して、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現できるようにすることを目指す。				
<b>学習内容</b>				
月	回	内容	到達度目標	
4	①	目標達成のための計画づくりをしよう！①	・自身の将来像を客観視することで、そこに到達するための情報を整理・分析できることを目指す。	
5				
6				
7				
9	②	目標達成のための計画づくりをしよう！②	・自身の将来像に到達するための計画を立てられることを目指す。	
10				
11				
12				
<b>評価方法</b>				
総合的な探究の時間では、単位認定試験は実施せず、添削指導の提出状況、面接指導の出席状況および受講態度等を総合的に判断して単位認定に値すると判断した場合は所定の単位を与える。				

科目名	単位数	教科書	添削指導数	面接指導数
総合的な探究の時間 c	1	なし	2	2
<b>学習目標</b>				
自分自身の将来の方向性を定めるとともに、どのように社会参画できるか、その在り方を考えられることを目指す。				
<b>学習内容</b>				
月	回	内容	到達度目標	
4	①	社会参画の方法を考えよう！①	・自己分析や将来に向けた計画を通して、自分自身が社会に貢献できることを主体的に検討できる。	
5				
6				
7				
9	②	社会参画の方法を考えよう！②	・自己分析や将来に向けた計画を通して、自分自身のよさを見出し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。	
10				
11				
12				
<b>評価方法</b>				
総合的な探究の時間では、単位認定試験は実施せず、添削指導の提出状況、面接指導の出席状況および受講態度等を総合的に判断して単位認定に値すると判断した場合は所定の単位を与える。				

科目名	単位数	教科書	HR	生徒会	行事
特別活動（1年次）	－	なし	11	2	15
<b>学習目標</b>					
<p>【ホームルーム活動】</p> <p>集団の一人であることを自覚させ、豊かで充実した高校生活と自立的、自発的な生活態度を育てる。</p> <p>【生徒会活動】</p> <p>異年齢の生徒同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて民主的に行動する態度を育てる。</p> <p>【学校行事】</p> <p>集団で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、自主的に集団の規律や秩序を守る態度を育てる。</p>					
<b>学習内容</b>					
月	内容	HR	生徒会	行事	
4	入学式 新年度に向けて	1		2	
5	他者理解	1			
6	言葉で説明しよう	1			
7	進路指導 進路相談会 終業式	1		3	
9	始業式 新学期に向けて	1		1	
10	レポート中間締切指導 体育祭	1	1	2	
11	進路指導	1			
12	文化祭 大掃除 終業式	1	1	3	
1	始業式 新学期に向けて	1		1	
2	進路指導 専門学校見学	1		2	
3	1年間を振り返って 修了式	1		1	
<b>評価方法</b>					
<p>レポートや試験はなく、下記の観点に沿って評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協働して集団行動を行う上で必要な知識・技能</li> <li>・社会適応力を身に付ける上で必要な課題発見、解決への思考力・判断力・表現力</li> <li>・主体的に社会に参画する姿勢、人間関係をより良くしようとする態度</li> </ul>					

科目名	単位数	教科書	HR	生徒会	行事
特別活動（2年次）	—	なし	11	2	14
<b>学習目標</b>					
<p>【ホームルーム活動】            集団の一人であることを自覚させ、豊かで充実した高校生活と自立的、自発的な生活態度を育てる。</p> <p>【生徒会活動】            異年齢の生徒同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて民主的に行動する態度を育てる。</p> <p>【学校行事】            集団で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、自主的に集団の規律や秩序を守る態度を育てる。</p>					
<b>学習内容</b>					
月	内容	HR	生徒会	行事	
4	始業式 新年度に向けて	1		1	
5	道徳教育	1			
6	情報リテラシー	1			
7	進路指導 進路相談会 終業式	1		3	
9	始業式 新学期に向けて	1		1	
10	レポート中間締切指導 体育祭	1	1	2	
11	進路指導	1			
12	文化祭 大掃除 終業式	1	1	3	
1	始業式 新学期に向けて	1		1	
2	進路指導 専門学校見学	1		2	
3	1年間を振り返って 修了式	1		1	
<b>評価方法</b>					
<p>レポートや試験はなく、下記の観点に沿って評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協働して集団行動を行う上で必要な知識・技能</li> <li>・社会適応力を身に付ける上で必要な課題発見、解決への思考力・判断力・表現力</li> <li>・主体的に社会に参画する姿勢、人間関係をより良くしようとする態度</li> </ul>					

科目名	単位数	教科書	HR	生徒会	行事
特別活動（3年次）	—	なし	9	2	29
<b>学習目標</b>					
<p>【ホームルーム活動】            集団の一人であることを自覚させ、豊かで充実した高校生活と自立的、自発的な生活態度を育てる。</p> <p>【生徒会活動】            異年齢の生徒同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて民主的に行動する態度を育てる。</p> <p>【学校行事】            集団で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、自主的に集団の規律や秩序を守る態度を育てる。</p>					
<b>学習内容</b>					
月	内容	HR	生徒会	行事	
4	始業式 新年度に向けて	1		1	
5	進路指導	1			
6	情報モラル	1			
7	進路指導 進路相談会 終業式	1		3	
9	始業式 新学期に向けて	1		1	
10	進路指導 体育祭	1	1	2	
11	進路指導 修学旅行	1		18	
12	文化祭 大掃除 終業式	1	1	3	
1	始業式 卒業に向けて	1		1	
2					
3					
<b>評価方法</b>					
<p>レポートや試験はなく、下記の観点に沿って評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協働して集団行動を行う上で必要な知識・技能</li> <li>・社会適応力を身に付ける上で必要な課題発見、解決への思考力・判断力・表現力</li> <li>・主体的に社会に参画する姿勢、人間関係をより良くしようとする態度</li> </ul>					